



このまち思いエネルギー。

広島ガス

広島ガス 2017

CSR報告書
Corporate Social Responsibility Report

持続可能な社会をみつめて…



1909年の創立以来、
炎が創る豊かで快適な暮らしを
ご提案しています。

CONTENTS

発行にあたって	1
CSR活動に対する広島ガスグループの基本的な考え方	2
TOP MESSAGE	3
トピックス1 新たなお客さまサービスへの取り組み	5
トピックス2 環境にやさしい天然ガスの高度利用	6
〈経営分野〉	
都市ガス事業フロー、供給区域と体制	7
都市ガスの安定供給への取り組み	9
お客さまの安心・安全に向けた取り組み	11
広島ガスグループの経営体制	13
中期経営計画	15
業績概要(連結)	17
〈環境分野〉	
環境保全活動の基本的な考え方	19
① お客さま先での環境負荷の低減	21
② 事業活動における環境負荷の低減	23
③ 地域環境保全への貢献	25
環境負荷低減フロー(2016年度実績)	26
環境目標および実績	27
環境会計	28
〈社会分野〉	
地域社会との関わり (芸術・文化振興、地域振興、スポーツ振興、教育支援)	29
情報発信／お客さま満足度向上の取り組み	32
求める人材像「お客さま、地域社会、一緒に働く仲間から信頼される人材」	33
働きやすい職場環境づくりをめざして	34
労働安全衛生の取り組み	35
CSR報告書2017によせて	36
広島ガスの概要	37
広島ガスグループの概要	38

ガス燈 広島県 JR三原駅前

広島ガスCSR報告書2017

発行にあたって

企業は従来から、社会に対して製品やサービスの提供という本来業務に加え、環境保全、社会貢献などのさまざまな社会的責任(CSR:Corporate Social Responsibility)を果たしてきました。近年は、CSRを一つの指標として企業を評価するなど、CSR活動の重要度は一層高まっています。

広島ガスでは、2000年度からこれらの活動内容を経営分野と環境分野の両面から開示することを目的に、報告書を発行してきました。その後、2003年度には社会的側面も報告対象とし、2005年度から、新たに表題を「CSR報告書」として「経営」、「環境」、「社会」の3分野で構成しています。

【報告対象】

【範囲】広島ガスおよびその関係会社からなる「広島ガスグループ」
【期間】2016年4月から2017年3月までの活動(一部、2017年度の実績を含む)。
本誌电子版および広島ガスグループ(主要子会社)の環境データをWebで公開しています。

(http://www.hiroshima-gas.co.jp/com/ir/library/library_05.html)

【参考ガイドライン】

○環境省「環境報告ガイドライン(2012年版)」

○「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン第4.0版(G4.0)」

CSR活動に対する広島ガスグループの基本的な考え方

広島ガスグループは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念のもと、地域の皆さまにエネルギーを安定的、かつ安心して安全にお使いいただくという、社会的責任の高い事業を行っています。その事業遂行こそが、大きな「社会的責任」とであるとともに、お客さま先での便利で快適な生活や、エネルギーミックスの推進、地域活性化に貢献したいと考えています。

今後も持続可能な社会の実現へ向け、天然ガス・LPガスの「ガス体エネルギーの普及拡大」と「エネルギーの高度利用」を基軸とした事業展開を行うとともに、コーポレート・ガバナンスの充実、地域貢献活動などを通じ、お客さま・株主の皆さまをはじめとするすべてのステークホルダーから信頼され、選択され続ける企業グループをめざします。

経営理念

「地域社会から信頼される会社をめざす」

広島ガスグループ 2020年ビジョンの 方向性

広島ガスグループは、2009年10月に、広島ガスグループ2020年ビジョン「Action for Dream 2020」を策定しています。

2020年ビジョンは、国や業界で描いた2030年、2050年といった超長期のガス事業のあり方も視野に入れ、広島ガスグループが2020年に向けたあるべき姿、ありたい姿に向けて持続的に発展していくための橋渡しと位置付けています。

《ビジョン基本方針》

- ①天然ガスなどのガス体エネルギーの普及拡大とエネルギーの高度利用を基軸として、低炭素社会の実現に貢献する。
- ②お客さま目線でのサービスのあり方を追求し、環境にやさしく快適な生活を創造し、お客さま価値の向上を図る。
- ③公正かつ透明で風通しのよい組織へ変革し、地域の好感度No.1の企業グループとなる。

温かく

- ◎人材を育む
- ◎環境を育む
- ◎お客さま・地域との関係を育む

広く

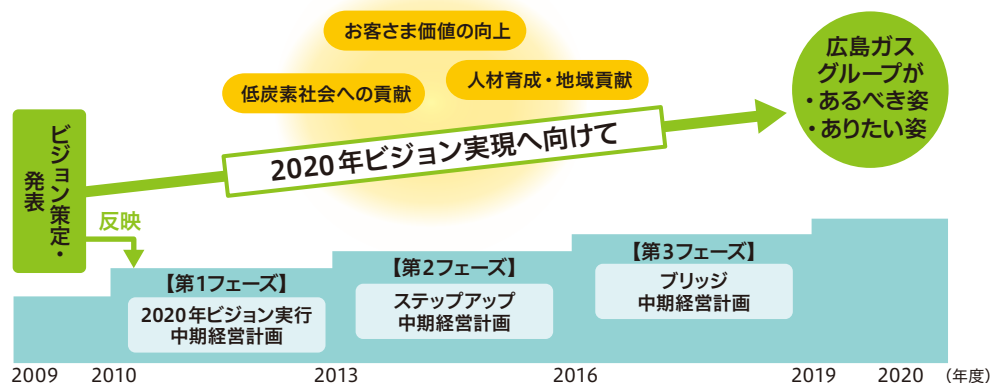
- ◎ガス体エネルギーの普及拡大（エリア・市場の拡大）
- ◎多様なエネルギーの提供

深く

- ◎エネルギーの高度利用
- ◎お客さまとの密なコミュニケーション
- ◎お客さまが望まれるサービスの提供

中期経営計画

広島ガスグループは、2020年ビジョン実現へ向け、2010年度から「2020年ビジョン実行中期経営計画」、2013年度から「ステップアップ中期経営計画」と位置付け、諸施策を実行してきました。2016年度からの中期経営計画では、2020年ビジョン実現に向けた最終フェーズとしてビジョン実現をより強く意識するとともに、エネルギー市場自由化に対応しつつ、次期ビジョンの策定を視野に入れ、諸課題への対応を検討・実施します。



中期経営計画の概要については
→ P.15

▶ エネルギー供給企業としての社会的責任

広島ガスは、1909年の創業以来、地域に根差したエネルギー会社として、地域の皆さまに支えられて発展してまいりました。

広島ガスグループが果たすべき社会的責任とは、「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念に基づき、エネルギーの安定供給と保安の確保を柱とした事業活動を展開していくことであると考えています。

CSR(企業の社会的責任)には「経営」、「環境」、「社会」の3つの側面があります。経営的側面では、エネルギーの安定的かつ安全な供給と外部環境の激しい変化に対応する経営計画の策定・実施を、環境的側面では、クリーンエネルギーである天然ガスの普及拡大などの事業活動を、社会的側面では、社会貢献活動および的確・迅速な情報発信を推進しています。

▶ エネルギー市場の自由化を迎えて

エネルギー業界は、2016年4月の電力の小売自由化に続き、2017年4月からはガスの小売市場が全面自由化され、まさに大転換期を迎えております。こうした規制緩和により、自由な発想に基づいたこれまで以上に積極的な営業展開が可能となりました。

新たな営業施策として、2017年1月から、Web会員サイト「MY HIROSHIMA GAS」や、「広ガスポイントサービス」、水まわり駆けつけサービスなどをはじめとした「広ガスくらしサービス」を順次開始しています。また、2017年3月には広島ガスグループの新企業スローガン「このまじ思いエネルギー。広島ガス」を発表し、この思いに恥じない企業であるために、引き続き、地域に住む「ひと」と「くらし」に寄り添ったサービスを展開してまいります。

また、お客さまとの接点をより強固なものとしていくために、当社の供給区域の各拠点に整備したガスショッピ併設型ショールームの有効活用策を検討実施するとともに、ガス機器の無償診断などを行う「ふれあい巡回」の継続や、機器メンテナンス体制の強化など、今後ますますのお客さまサービスの充実を図ってまいります。

広島ガスグループは、エネルギー市場の自由化などの環境変化を飛躍のための最大のチャンスととらえ、LPガスも含めたガス体エネルギーの普及拡大を図り、お客さまから選ばれ続ける企業グループをめざしてまいります。

▶ 環境にやさしく快適なくらしを

広島ガスグループでは、「環境負荷の低い天然ガスをはじめとするガス体エネルギーの一層の普及拡大」と「高効率機器の拡販やスマートコミュニティ事業への参画をはじめとしたエネルギーの高度利用」を基軸とした事業活動を推進していくことで、地球環境に貢献してまいります。

業務用市場においては、CO₂の排出が少なく、環境にやさしい天然ガスを選んでいただけるように省エネ提案をはじめとした種々の提案活動を行っております。今後も引き続き、分散型熱電併給システムであるガスコージェネレーションシステム、夏場の電力ピークカットができるガス空調などの普及促進を通じて、省エネルギーや省CO₂に加え、エネルギーセキュリティ向上やピーク時の電力負荷の低減に寄与してまいります。

家庭用市場においては、2015年12月に累計販売台数1,000台を突破した家庭用燃料電池「エネファーム」などの省エネ機器の一層の普及促進を図ってまいります。マンション向けエネファームについても、2016年度には複数の新築マンションへの設置が決まり、今後ますますの普及が期待されます。今後とも省エネルギーで環境にやさしいエネルギーシステムの普及拡大を通じて、エネルギーの高度利用に貢献してまいります。

また、海田地区でのバイオマス混焼発電所の建設については、環境影響評価手続きを終え、引き続き事業可能性の検討を行っています。これらの取り組みを通じて、お客さまに、環境にやさしく快適なくらしをお届けしてまいります。

▶ 安定供給と保安の確保

製造インフラについては、廿日市工場の棧橋機能拡大工事が完成し、2016年2月からは大型標準LNG船による原料の受け入れを開始しました。スケールメリットを活かした原料輸送コストの低減を図るとともに、原料の調達先についても多様化を進めてまいります。また、2017年2月にはシンガポールに駐在員事務所を開設し、エネルギー関連市場や当社が所有するLNG船の有効活用に向けた情報収集を行っています。今後もLNGの安定的な供給の継続に加えて、より安価な天然ガスをお客さまにお届けできるように努めてまいります。

供給インフラについても、天然ガスの普及拡大と供給安定性の向上を図るとともに、ガス販売量の増大に対応するため、

高圧幹線である広島湾岸幹線新設工事や、東広島市などにおけるパイプライン延伸工事を行っています。供給区域についても、2016年8月からは福山市を加えた7市4町に拡大しました。

保安の確保につきましては、ハード面において、耐震性の高いガス管であるポリエチレン(PE)管への取り替え、ガスの遮断と復旧を効率的かつ効果的に行うための導管網の小ブロック化の推進を図り、ソフト面において、人材育成の充実、緊急措置訓練、技能競技大会などを通じて、現場力の強化を推進しています。

また、2017年12月には本社構内に防災拠点ビルが完成予定です。本ビルは、震度7クラスの地震に耐えられる免震構造を採用するとともに、地震による津波を想定し、事務所機能を2階以上に配置することで、災害発生時の対応拠点としての役割を果たします。また、建物内に災害対策本部室を設置することで、災害時における緊急対策・復旧対策の迅速化を図ってまいります。本ビルの建設をはじめとして、さらなるインフラ整備や現場力の向上を通じて、ハード・ソフト両面からより一層の保安に対する取り組みの強化を進め、お客さまの安心・安全の確保に努めてまいります。

▶ 地域社会から信頼される会社をめざして

地域に根差した広島ガスグループが、持続的に発展していくためには、地域の活性化が不可欠であると認識しております。エネルギー供給の着実な遂行に加え、お客さまや地域の皆さまとのつながりやふれあいを大切にし、地域の芸術文化、教育、スポーツ、環境分野などにおける社会貢献活動、情報発信に取り組んでまいります。こうした地域貢献を通じて、地域の活性化・発展の一助になればと考えています。

社内におきましても、コンプライアンス意識の徹底、リスクマネジメントの強化、広島ガスグループ間の人材交流の実施や、風通しのよい職場環境の構築による公正かつ透明性の高い事業運営に努めてまいります。併せて、当社グループの社員全員が、「当社の社員であることに自信と誇りを持てる会社」をめざし、個々の「人間力」を高めてまいります。

広島ガスグループでは、引き続きグループ役職員一丸となって、業務に精励し、「地域の好感度No.1企業グループ」として、すべてのステークホルダーの皆さまから信頼され、選ばれ続ける企業グループをめざしてまいります。



代表取締役社長 社長執行役員

松藤 研介

(2017.6.27就任)

皆さまには、本報告書をご一読いただき、広島ガスグループの取り組みをご理解いただくとともに、忌憚のないご意見・ご感想をお聞かせいただければ幸いです。

2017年7月

新たなお客さまサービスへの取り組み

2017年4月から、ガスの小売全面自由化がはじまりました。

広島ガスでは、これから都市ガスを安定してお届けするとともに、お客さまの暮らしをより豊かにする新しいサービスを提供してまいります。

このまちの「ひと」思いサービス

- Web会員サイト
- ポイントサービス



このまちの「くらし」思いサービス

- 生活関連サービス



広ガスくらしサービス

「Web会員サイト」の開設

2017年1月開始

ガスの使用量や料金をご照会いただけるWeb会員サイト「MY HIROSHIMA GAS」を開設しました。

サイトにご登録(無料)いただくと、パソコンやスマートフォンを使っていつでもどこでも最大過去3年間のガス使用量とガス料金の変化を見やすいグラフでご確認いただけます。

また検針の完了をメールでお知らせします。



「ポイントサービス」の開始

広ガスポイント / 2017年4月開始
ポイント交換 / 2017年6月開始

「MY HIROSHIMA GAS」に入会していただき、家庭用としてガスをご使用のお客さまを対象に、ポイントサービス「広ガスポイント」をスタートしました。

たまったポイントは広島県の地元特産品などとの交換や、地元店舗などで利用できる「広ガスクーポン*」などと交換することができるほか、広島ガスが実施する抽選企画への応募などに利用することができます。

【広ガスクーポン】



画像はイメージです。

*ご利用は広島県の飲食店やスーパーなど「広ガスクーポン取扱い加盟店」に限ります。

NO.	メニュー	ためる	概要	ポイント数
1	獲得ポイント(入会)	1回のみ	「MY HIROSHIMA GAS」にご入会	200P
2	ご愛顧ポイント(ガス料金)	毎月	ガス料金のお支払額	100円(税込)につき1P
3	ご愛顧ポイント(警報器リース)	毎月	警報器リース料金のお支払額	100円(税込)につき1P
4	獲得ポイント(情報登録)	1回のみ	家族構成などの会員情報の追加のご登録	20P
5	獲得ポイント(アンケート)		アンケートへのご回答	50P/回

※アンケート内容により、たまるポイント数を変更(最大50P/回)

▶▶▶ 詳しくはコチラ

「生活関連サービス」の提供開始

2017年4月開始

お客さまの「くらし」の便利さや快適さの向上を思い、「広ガスくらしサービス」を開始しました。

サービスでは、キッチンやバスなどの水まわりトラブル対応をはじめ、お手頃な価格での水まわりリフォームパック提案、24時間365日受付のガス機器修理、警報器によるくらしの見守りを行います。



ガスキー



▶▶▶ 詳しくはコチラ

新企業スローガンの導入と広告展開



このまち思い物語 TVCM(全3話)



広島ガスグループでは、ガスで皆さまのくらしと心をあたためる総合エネルギー企業でありたいと願い、2017年3月から新企業スローガン「このまち思いエネルギー。広島ガス」を導入し、テレビや新聞、電車広告などのさまざまな媒体を通じてメッセージを発信しています。

■ 産学官住連携によるスマートコミュニティの構築

広島市中区東千田町の広島大学本部跡地にて、産学官住連携*による「スマートコミュニティ」の構築に参画しています。2016年10月に街開きイベントが開催され、新しい街（hitoto広島）での生活・エネルギー運用などがはじまっています。

*産学官住連携組織

広島大学、中国経済産業局、広島市、三菱地所レジデンス(株)、三井不動産レジデンシャル(株)、菱重プロパティーズ(株)、(株)トーテ都市開発、広島電鉄(株)、社会福祉法人広島常光福祉会、三井住友ファイナンス&リース(株)、(株)ルネサンス、広島トヨペット(株)、NTT西日本(株)、中国電力(株)、**広島ガス(株)**

知の拠点、医療・介護・健康、防災などに加えて、電気と天然ガスをベストミックスさせる人と環境にやさしい街づくりをめざしています。

●一括受電・EMS(エネルギー管理システム)：
国土交通省「サステナブル建築物等先導事業」活用

ガスコージェネレーションシステムの排熱は、施設内(プール、介護施設など)で使用する温水に利用しています。



●省エネ・省CO₂機器：環境省「二酸化炭素排出抑制対策事業費補助金」活用



■ 家庭用燃料電池「エネファーム」の普及拡大

◎エネファームとは

「エネファーム」は、天然ガスなどから取り出した水素と空気中の酸素の化学反応で発電し、その際発生する熱を利用してお湯をつくります。従来型給湯器によるシステムと比べて、CO₂排出量を標準家庭で年間約1.2t抑える発電効率の高い最先端の発電・給湯暖房システムです。

2009年の販売開始以来、新築住宅・既設住宅のお客様さまに導入いただいた結果、累計販売台数は1,449台(2017年3月31日現在)となりました。今後も一層エネファームの普及拡大に取り組み、お客様さまの快適な暮らしと省エネ・省CO₂に貢献していきます。



◎マンション向けエネファームの採用

2014年12月からマンション向けエネファームの採用に向けて提案活動に取り組んできた結果、2016年4月に広島県で初めて採用が決定しました。

マンションにおける効率的なエネルギー利用の貢献にも努めていきます。



マンション向けエネファーム
(広島市中区吉島)

◎エネファーム固体酸化物形(SOFC)販売開始

2016年4月から、「固体酸化物形燃料電池エネファームtypeS」の販売も開始しました。バリエーションが増えたことにより、さらに多くのお客様さまにお使いいただけるようになっています。

「エネファームtype S」と「固体高分子形エネファーム」の比較

	エネファーム type S	固体高分子形 エネファーム
作動温度	約700℃～750℃	約60℃～80℃
電池の種類	固体酸化物形(SOFC)	固体高分子形(PEFC)
電解質	セラミックス	高分子膜
発電効率	46.9% (52.0%)*	35.2% (39.0%)*
備考	電気の使用量の割合が多い お客さま向け (家族の人数が少ないご家庭)	お湯の使用量の割合が多い お客さま向け (家族の人数が多いご家庭)

※()内の数値は、LHV(低位発熱量)基準です。

◎エネファームの補助金(2017年度)

補助金額(定額)	基準価格以下	追加補助対象	追加補助金額
固体高分子形(PEFC)	11万円	建物区分:既設	各々 +3万円
固体酸化物形(SOFC)	16万円	燃料種類:LPガス	
		システム仕様:寒冷地仕様	

●募集期間…2017年4月7日～2018年2月16日

※詳細はFCA(一般社団法人燃料電池普及促進協会)のホームページをご参照ください。

	補助金額	募集期間
広島市	5万円/台 × 200台	2017年4月17日～2018年1月31日
呉市	5万円/台 × 50台	2017年4月11日～2018年1月31日
三原市	7万円/台 × 30台	2017年4月7日～2018年1月31日
東広島市	15万円/台 × 20台 ※HEMS(ホームエネルギー マネジメントシステム) 設置必須	2017年4月10日～2018年2月28日

※詳細は各市のホームページをご参照ください。

経営分野

エネルギーの安定的かつ安全な供給、継続的な企業価値の向上をめざし、事業基盤の強化を図るとともに、経営の健全性・透明性の確保に努めていきます。

都市ガス事業フロー

原料の調達・輸送

原料となる天然ガスは、海外で採掘され、冷却（約-160℃）・液化し、LNG（液化天然ガス）として輸送



ロシア・プリゴロドノエ基地

【天然ガス採掘】

【LNG船】



都市ガスの製造

LNGは、LNG貯槽に受け入れ、需要量に応じて気化した後、熱量調整などを行い、都市ガスとして送出



廿日市工場

【ピットイン式LNG貯槽】

【LNG気化器】



供給区域と体制

供給区域（広島県内7市4町）

広島市、呉市、尾道市、三原市、廿日市市、東広島市、福山市、安芸郡海田町・坂町・府中町・熊野町

お客さま戸数

409千戸

広島地区

お客さま戸数

345千戸



本社



可部基地



可部基地

本社



海田基地



東広島製造所

東広島製造所

熊野基地

呉地区

お客さま戸数

47千戸



廿日市工場



呉支店

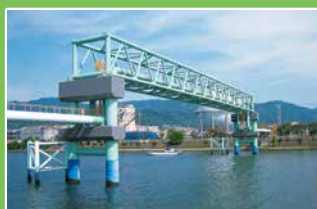


熊野基地

都市ガスの供給

お客さま先で

地中に埋設した5,108kmの
導管（本支管・供給管）を通じて、
お客さま先まで供給



ガス管橋

【ガスホルダー】



お届けした都市ガスは、さまざまな用途でご使用



工場など

【工業用】



ホテル・ビル・学校など

【商業用】



厨房・給湯など

【家庭用】



広島県



備後工場

卸供給 (広島ガス)

連結子会社である
瀬戸内パイプライン(株)
の設備を活用した卸
供給



水島ステーション
(瀬戸内パイプライン(株))



水島LNG基地
(水島エルエヌジー(株))

岡山県

水島ステーション
水島LNG基地

福山ガス(株)

備後工場

尾道支店

尾道・三原地区

お客さま戸数

17千戸



尾道支店

凡例

供給区域 (広島地区)		ガスホルダー	
供給区域 (呉地区)		ガス製造所	
供給区域 (尾道・三原地区)		本社・支店・基地	
幹線 (広島ガス)		検討中幹線	
		幹線 (瀬戸内パイプライン)	

都市ガスの安定供給への取り組み

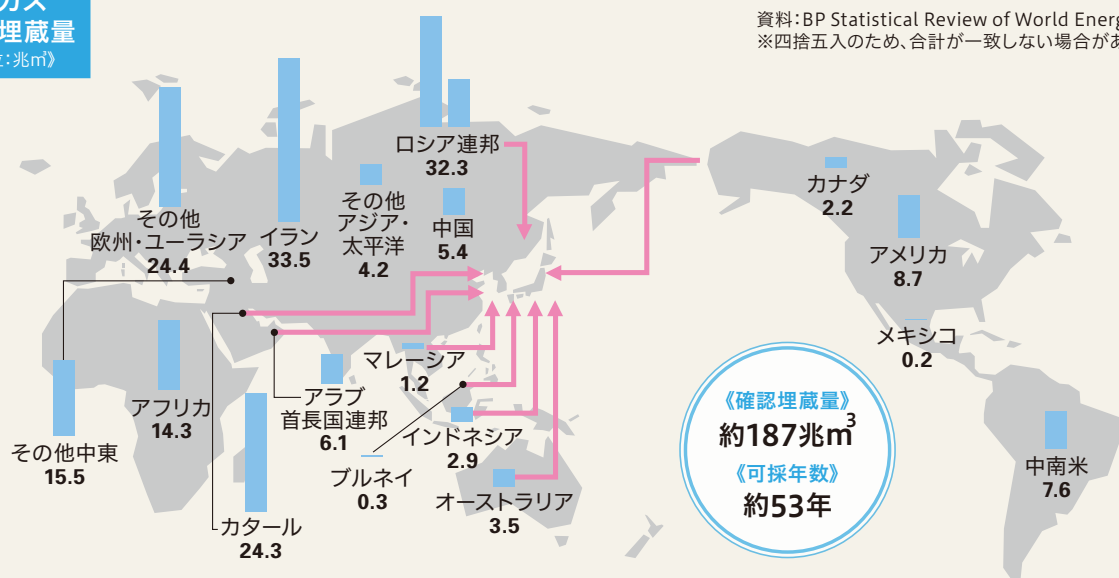
都市ガスは、電気・水道と並び、地域を支える重要なライフラインの一つです。その都市ガスを安定的に供給することが、広島ガスの大きな「社会的責任」であると考えています。そのため、原料である液化天然ガス（LNG）の調達・輸送から都市ガスの製造・供給に至るまで、国際情勢、エネルギー市場の動向および業界の動きなどを注視しながら、さまざまな施策を講じています。

都市ガスの原料

都市ガスの主な原料「天然ガス」は世界各地に豊富に存在し、可採年数は約53年と言われ、中東地域以外からも確保が可能なエネルギーです。わが国の都市ガス事業者は、主に環太平洋諸国から長期契約に基づいてLNGを輸入し、安定供給に努めています。

天然ガス 確認埋蔵量 《単位：兆m³》

資料：BP Statistical Review of World Energy 2017
※四捨五入のため、合計が一致しない場合があります。



LNG安定調達に向けた取り組み

▶ LNG調達先の多様化

近年、世界的規模で天然ガス需要は拡大していますが、広島ガスにおいても都市ガスの需要増に対応するため、LNG調達先の多様化を図っています。2016年以降のLNG調達は、サハリン（ロシア）、大阪ガス（株）、マレーシアからLNG売買契約に基づき、年間約40万トンのLNGを調達することが可能となっています。

また、2017年2月には、広島ガス初の海外拠点となるシンガポール駐在員事務所を開設しました。シンガポールおよび周辺諸国でのエネルギー関連市場の情報収集などを通じて、将来のLNGの安定調達などに努めていきます。

【2016年以降のLNG調達】

調達先	年間契約数量	契約期間
サハリン	最大21万t	2008年4月～2028年3月
大阪ガス（株）	約5～13万t	2016年1月～2031年3月
マレーシア	約10万t	2016年4月～2026年3月
合 計	約40万t	※年度により変動



シンガポール駐在員事務所開設レセプション

▶ 中国電力（株）との相互協力協定

地域における効率的かつ安定的な天然ガス普及を図るため、LNGの調達において、中国電力（株）と相互協力協定を2006年6月に締結しています。

都市ガスの製造

廿日市工場、備後工場、東広島製造所で都市ガスを製造しており、LNGの受け入れ、ガスの製造などについては、中央制御室で集中的にコントロールしています。

また、毎日の設備点検、定期的な保守や有事に備えた訓練を行うことで、安全かつ効率的に都市ガスを製造する体制を整えています。



中央制御室



廿日市市消防本部との合同訓練

都市ガスの供給

保安指令センターでは、工場で製造した都市ガスをお客さまのもとへ安定してお届けするため、都市ガスの圧力、輸送状況などを常時監視しています。

また、緊急時に備えて、夜間・休日でも迅速に対応できるよう24時間受付・出動できる体制を整えています。



保安指令センター



保安車両

天然ガス供給体制の拡大

▶ 水島ステーションおよび導管を活用した卸供給

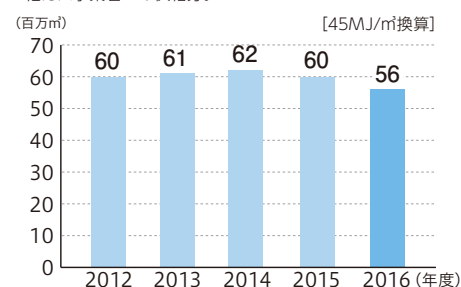
広島ガスは、水島LNG基地から天然ガスを受け入れ、連結子会社である瀬戸内パイプライン(株)の熱量調整を行う施設「水島ステーション」および水島-福山間の水島福山幹線(約40km)を通じて、2007年から福山ガス(株)に卸供給しています。

また瀬戸内パイプライン(株)は2014年から、水島-玉島間の「水島第二高圧幹線(約4km)」により、発電用の天然ガスを託送しています。



水島ステーション

ガス販売量(卸供給*など)《水島-福山間》
*他ガス事業者への供給分。



お客さまの安心・安全に向けた取り組み

地震災害時などに備えたさまざまな対策を実施するとともに、災害発生時には迅速かつ適切に対応します。

地震防災対策3つの柱

いつでも安心して、ガスをお使いいただくために「設備対策」、「緊急対策」、「復旧対策」の3段階の対策に取り組んでいます。

設備対策

ガスをお届けする設備は高い耐震性を備えています。

緊急対策

速やかにガスの供給を停止し、二次災害を未然に防ぎます。

復旧対策

安全かつ速やかにガスの供給を再開します。

設備対策

地震による被害を最小限に抑えるため、製造設備からお客さまに都市ガスをお届けするガス導管に至るまでさまざまな対策を実施しています。

《LNG貯槽》



貯槽タンクは地下に構築した外壁の厚さが2m以上のコンクリートピット内に据え付けられ、内部のLNG液面は地表よりも低く、万一の場合でも漏れ出すことはありません。

《高圧・中圧導管》



高い圧力のガスを輸送する導管には、耐震性に優れ、大きな地盤変動にも耐える「溶接接合鋼管」を使用しています。

《ガスホルダー》



基礎部分は地中深くの支持地盤まで杭が打ち込まれています。その基礎の上に支柱と球体を設置し、大規模地震にも耐えられるよう設計・施工しています。

《低圧導管》



お客さまのご家庭にガスをお届けする導管には、耐震性、耐腐食性に優れた「ポリエチレン管」などを使用しています。

緊急対策

地震が発生した場合、二次災害を防ぐため、緊急停止判断基準によりあらかじめ定めた区域(ブロック)ごとにガスの供給を停止します。

【ブロック化】

被害の大きい区域だけ遠隔操作によりガスの供給を停止し、被害のない区域にはガスの供給を継続するため、導管網をブロック化しています。

また現在、ブロックをさらに細分化した小ブロック化を推進しています。2019年をめどに現在の26ブロックを45ブロックにする計画です。

⚠ 供給停止ブロックと地震計配置図



緊急停止判断基準

【第一次緊急停止】

地震計のSI値*が60カイン以上の揺れを検知した場合は、ブロック化した範囲を遠隔操作で遮断し、ガスの供給を停止します。

【第二次緊急停止】

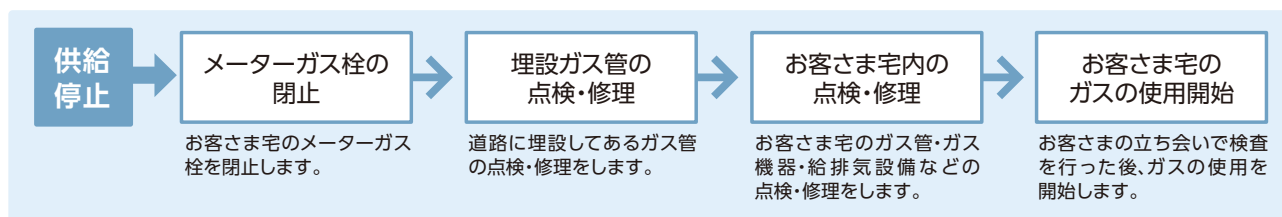
地震計のSI値*が30カイン以上60カイン未満の場合は、ガスの圧力や流量の急激な変動を確認するとともに緊急巡回点検を行い、緊急にガスの供給を停止する必要がある場合は、第一次緊急停止と同様な措置を行います。

※SI値: Spectrum Intensity の略で、地震によって一般的な構造物がどれくらい大きく揺れるかを表す指標です。SI値が大きいほど構造物は大きく揺れることになります。

復旧対策

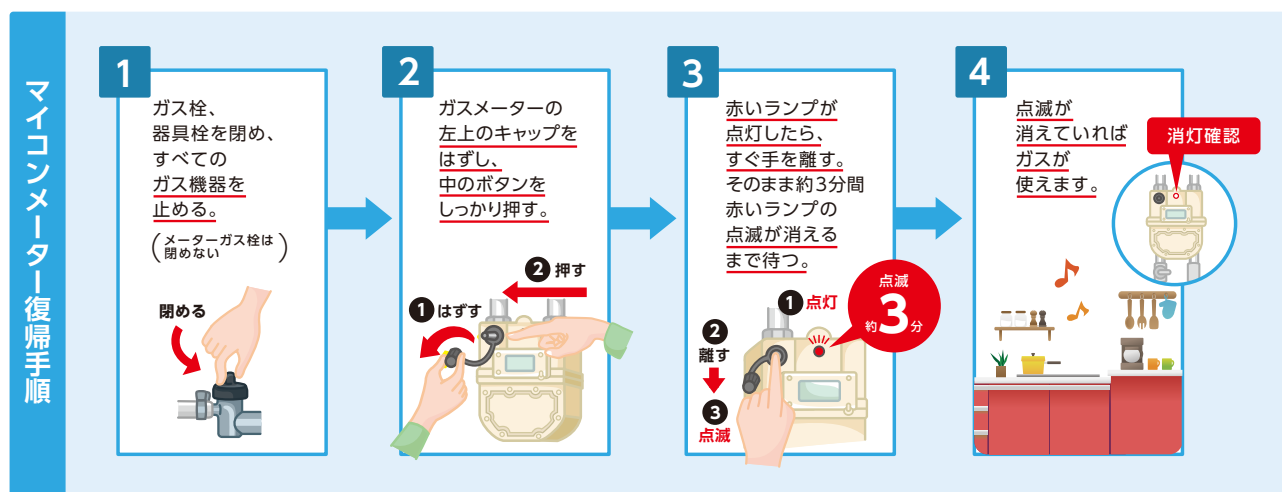
やむを得ずガスの供給を停止した場合、1日も早い「ガスの復旧」に向けた作業を下記の手順で行います。

【復旧作業の手順】



お客さま先での安心・安全対策

お客さまのガス設備に対する法定保安点検の確実な遂行や、ホームページなどを通じた安全周知の強化に努めるとともに、安全型機器への取替活動を推進します。また、お客さま宅には、ガス使用中に震度5相当以上の地震を感知した場合に自動的にガスを遮断するマイコンメーターを設置しています。広島ガスでは例外を除き、16号以下のガスメーターにはマイコンメーターを採用しています。



保安対策の取り組み

工事品質や保安レベルの維持・向上のため、「内管・本支管技能コンクール」や「保安技能大会」などを開催しています。また、毎年、大規模地震を想定した全社による総合防災訓練(災害対策本部の設置、初動対応、復旧計画の立案など)を実施しています。このような取り組みを推進し、さらなる保安レベル・現場力の向上をめざしています。



内管・本支管技能コンクール



保安技能大会



総合防災訓練

防災拠点ビルの建設

大規模地震などの災害に対する防災拠点として、本社構内に、2016年11月から防災拠点ビル(地上6階、約3,900㎡)の建設工事を開始し、2017年12月に竣工予定です。本ビルは、震度7クラスの地震にも耐える免震構造を採用し、また、津波などの浸水被害にも機能を維持できるよう2階以上に事務所機能を配置します。ビル内には、災害対策本部室をはじめ、緊急時の受付・指令の拠点となる保安指令センターなど、日常および災害時の防災拠点としての機能を備えます。



防災拠点ビル完成予想図

広島ガスグループのリスクマネジメント・コンプライアンス体制

経営理念「地域社会から信頼される会社をめざす」を実現するため、右図のようなリスクマネジメント・コンプライアンス体制を構築し、広島ガスグループ役職員が法令や社会的規範を遵守し、良識ある公正な行動により、良き企業市民として地域社会から支持されることをめざしています。

▶ 行動規範の策定

職務執行の基準となる行動規範(各種の「業務規程」や「広島ガスグループ社員行動指針」など)を策定し、適正な業務遂行に役立てています。

▶ 継続的な教育

定期的にコンプライアンス教育および意識調査を実施することにより、広島ガスグループ役職員にコンプライアンス意識を根付かせ、法令違反などを許さない企業風土を醸成しています。さらに、イントラネットを利用した「内部統制掲示板」や「グループ広報誌(GASLAND)」を通じた情報の発信や「広島ガスグループ社員行動指針」、「コンプライアンスカード」の配布など、リスクマネジメント・コンプライアンス意識の維持・向上に努めています。

▶ 推進体制

リスクマネジメント・コンプライアンス推進のための担当部署として、内部統制推進部を設置(2016年4月の組織変更により総務部に機能を移管)するとともに、内部統制推進委員会やグループマネジメント委員会を設置し、各部門で実施しているリスクマネジメント・コンプライアンス施策の推進状況を管理しています。また、社長および2名の社外弁護士からなる企業倫理委員会を設置し、コンプライアンス施策の決定ならびに制度の運用状況の把握と是正策について協議する体制を整備するとともに、広島ガスグループの社員が、直接、企業倫理委員会の委員などに相談・報告することができる「社員相談報告制度」を導入し、自浄機能の強化を図っています。

▶ 各種リスクへの対応

【自然災害などによるリスクへの対応】

ガス供給の安定性・安全性を阻害するような大規模な自然災害などによるリスクに対しては、あらかじめ規程化している「地震等防災対策要領」に従い、災害・事故発生時の緊急情報連絡体制・指揮命令体制などを整備しており、定期的な想定訓練を実施し、被害拡大の最小化を図っています。

【情報漏洩などによるリスクへの対応】

情報漏洩などによるリスクに対しては、「情報セキュリティポリシー」に従って、情報セキュリティ委員会を中心とした体制を構築し、個人情報の取り扱いに関する社内啓蒙活動をはじめ、情報漏洩事故の発生防止に努めるとともに、発生時における情報開示などのあり方についても規程化し、機動的な対応を図っています。

【業務遂行上に発生するリスクへの対応】

業務遂行上に発生するリスクに対しては、各部門ごとにリスクを識別・分析・評価し、対策案を作成・実施することにより、対策を図っています。また、リスク発生時には、総務部や内部統制推進委員会が中心となって、迅速な問題解決を図るとともに、リスク発生要因などを分析し、再発防止を図っています。

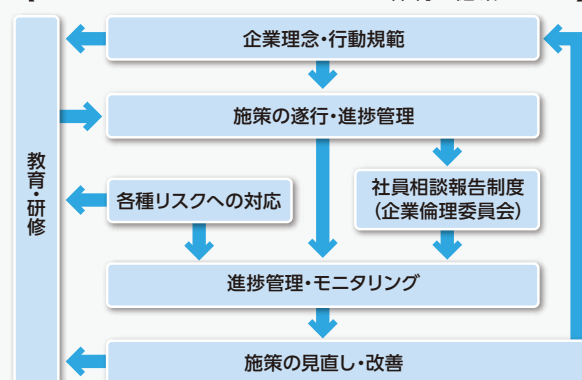
▶ モニタリング体制

グループ内部監査を実施するため、社長直轄の組織である監査部を設置し、当社各部門およびグループ各社の業務実態などについて、監査スケジュールに基づいた監査を実施しています。また、業務遂行におけるセルフチェック機能の強化を図るため、CSA活動(自己統制評価活動)への継続的な取り組みを実施しており、部門ごとに「セルフチェックリスト」を作成・評価し、その評価結果をもとに監査部による往査を実施しています。

▶ グループ各社との連携

「グループ人事交流方針」を策定し、この方針に基づいたグループ各社間での人事交流を実施することにより、リスクマネジメントや連携の強化を図っています。また、グループ各社への監督機能の強化を図るため、グループマネジメント委員会を設置し、グループ各社より「広島ガスグループ会社運用規程」に基づいて上程される業務執行に関する事案について事前に審議を行うなど、対策を図っています。

【リスクマネジメント・コンプライアンス体制の循環サイクル】



中期経営計画

2009年10月に策定した2020年に向けたグループ経営ビジョン「Action for Dream 2020」実現のため、2010年度からの3カ年を第1フェーズ：ビジョン実現に向けたアクションプランを実行する期間、2013年度からの3カ年を第2フェーズ：さらなるステップアップを図る期間、2016年度からの3カ年を第3フェーズと位置付け、諸施策を実行しています。

2017年度中期経営計画では、エネルギー市場の自由化などの環境変化を好機ととらえ、ガス体エネルギーの普及拡大を図り、事業効率を高めるとともに、事業環境の変化を活かした新たな事業展開の検討を推進し、持続的に発展していく企業グループをめざしていきます。

2020年ビジョン | Action for Dream 2020

第1フェーズ 2010年度～2012年度 中期経営計画 「2020年ビジョン実行中期経営計画」

第2フェーズ 2013年度～2015年度 中期経営計画 「ステップアップ中期経営計画」

第3フェーズ 2016年度～2018年度 中期経営計画 「ブリッジ中期経営計画」

2017年度 中期経営計画スローガン

「次期ビジョン・将来への架け橋」

～エネルギー市場の自由化などの環境変化を好機ととらえ、2020年ビジョンの実現および次期ビジョンの策定を見据え、持続的に発展していく企業グループをめざす～

経営方針

ガス体エネルギー（天然ガス・LPガス）の普及拡大、エネルギーの高度利用を通じ、省エネ・省CO₂およびエネルギーセキュリティの向上に貢献する。

- 既存供給区域内の深耕のみならず、周辺地区を中心とした供給区域外を含めた広域圏の需要開発の推進
- 都市ガスとLPガスの連携を強化し、効率的な営業活動を展開し、お客さま接点業務の充実
- 天然ガスの普及拡大、供給安定性の向上に資するインフラ整備を中長期的な視点で実施

お客さま目線でのサービスのあり方を追求するとともに、環境にやさしく安心・安全で快適な暮らしを創造し、お客さま価値の向上を図る。

- 電気や熱を含めたマルチエネルギー供給、再生可能エネルギーの普及拡大、エネルギー供給周辺業務を基軸としたサービスの充実、シェアの維持拡大に資する料金メニューの構築により、お客さま価値、エネルギーシェアの向上
- エネルギーの安定供給、保安レベル・お客さまサービス品質の維持・向上など、エネルギー供給を担う企業グループとしての役割を確実に遂行
- 地震・津波・防災対策について、国・自治体の防災対策との連携も視野に入れた効果的な施策を、優先度を勘案して実施

エネルギー市場自由化に向け適切な対応を図り、新たな事業展開を検討・実施する。

- ガスシステム改革の動向、小売全面自由化を踏まえた料金・サービスなどの営業施策や新制度に適用した約款類・体制の整備などの検討・実施
- 既存事業との相乗効果も視野に入れ、総合エネルギー企業としての発展に資する新たな事業展開の検討・実施

公正かつ透明で風通しのよい組織へ変革し、地域の好感度No.1企業グループとなる。

- グループ経営管理やコーポレート・ガバナンスの強化を推進し、健全な企業運営の推進に向け、リスク対応の強化
- コンプライアンスの推進とリスクマネジメント活動の推進
- 人権啓発活動、コミュニケーションの強化などによる働きやすい職場環境づくり、組織の活性化の推進

従業員の能力・やりがいを高め、グループの成長を担う人材の育成を推進する。

- 人材育成・開発、モチベーション向上策などにより、人材・組織の活性化
- 現場力の強化、専門性の高い人材の育成、技術・技能伝承の推進

グループ全体の収益性と健全性を高め、強靱な企業グループを構築するとともに、持続的な発展をめざす。

- グループ間の相乗効果を最大限活用してビジョン実現に向けた諸施策の推進
- 経営資源の効率的かつ効果的な活用と弾力的な財務戦略の実施

ガス需給計画

(45MJ/m³換算)

		実績	計画			
		2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	3年間平均伸び率
お客さま戸数(年度末)		409千戸	409千戸	409千戸	410千戸	0.1%
ガス販売量 (百万m ³)	家庭用	99	103	103	104	1.3%
	業務用	商業用	44	46	47	2.9%
		工業用	255	256	322	9.3%
		その他	38	38	40	1.7%
	合計(卸供給など除く)	437	444	515	533	6.5%
	卸供給など	56	56	56	56	0.0%
総合計		494	501	571	589	5.8%

注) 端数処理の関係上、各項目の合計値は一致しない場合があります。

▶ 家庭用

給湯暖房システムや暖房器などのガス機器拡販およびお得な家庭用選択約款の普及拡大を図るとともに、都市ガスとLPガスの協働営業による効率的な営業活動を展開することなどにより、家庭用販売量の維持・増量に努めていきます。

新築および既設住宅リフォームのお客さまには、環境性・省エネ性の優位性を積極的にご提案することにより、集合住宅用を含む家庭用燃料電池「エネファーム」などの普及促進を図っていきます。

また、お客さま満足度の向上を図るため、ガス機器修理体制の強化に取り組むとともに、「ふれあい巡回」を継続して実施するなど、

お客さまとの接点強化とサービスの向上に取り組んでいきます。

さらに、東広島をはじめとする未普及地区や低普及率地区への営業強化などにより、供給区域・商圏の拡大を検討・実施していきます。

【家庭用重点機器販売目標(2017年度)】

給湯暖房システム	3,284台
暖房器	3,115台
エネファーム	615台

▶ 業務用

環境性に優れ、電源の分散化の視点からも注目される天然ガスの普及拡大に向け、省エネ・省CO₂のご提案などお客さまニーズに沿った営業活動の推進により、新規物件の獲得を進めるとともに、既設物件の計画的なリニューアル営業を展開していきます。また、未普及地区や供給区域外も含めた広域圏での新規需要開拓について検討を進めていきます。

設備投資計画

天然ガスの普及拡大に対応し、安定供給体制を確保するため、中長期的な視点で製造設備および供給設備の増強・改修・入替など、製造・供給インフラの整備を計画的・効率的に行っていきます。

【設備投資計画】

(単位: 億円)

	実績	計画			
	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	3年間合計
製造設備	8	5	5	1	13
供給設備	52	57	72	73	203
業務設備など	12	18	9	1	29
合 計	73	81	87	76	245

注) 端数処理の関係上、各項目の合計値は一致しない場合があります。

保安対策の強化

お客さまに安心してガスをご利用いただくため、ガス事故防止に向けた保安対策を計画的に実施するとともに、製造・供給設備の経年劣化・災害対策を効率的かつ効果的に推進します。

項 目	具体的内容
(1) 製造供給段階保安対策の推進	- 経年本支管(白ガス管)の効果的な入替の推進 - 防災拠点ビルの活用をはじめとした保安体制のあり方の検討
(2) 消費段階保安対策の推進	- 消費段階での事故防止の観点による、法定点検・安全周知の強化、給排気設備の改善および安全型機器への取替活動の推進 - 業務用厨房のお客さまに対する排ガス中毒事故防止の強化
(3) 保安点検・検査活動の確実な実行と効率化	- 法定点検の確実な実行、幹線パトロールの充実 - 保安レベルの維持を前提とした効果的な設備点検・検査の実施
(4) 地震・防災対策の検討・実施	- 防災拠点ビルの建設と運営体制の整備 - 供給区域の地震遮断エリアの小ブロック化の推進

エネルギー市場自由化に向けた対応

ガス小売全面自由化を迎え、お客さまの新たなニーズに対応し、選択し続けていただけるよう、料金・サービスなどの営業施策を検討・実施していきます。2017年4月から、新たなお客さまサービス(ポイントサービス、生活関連サービス)を立ち上げました。これらのサービスを通じて、これからも選択され続けるようお客さまのご期待に応え、信頼関係を強固なものにしていくことをめざします。

さらに、既存事業との相乗効果を図るべく、発電事業をはじめとする電力事業の検討を継続し、総合エネルギー企業としての発展をめざします。

業績概要(連結)

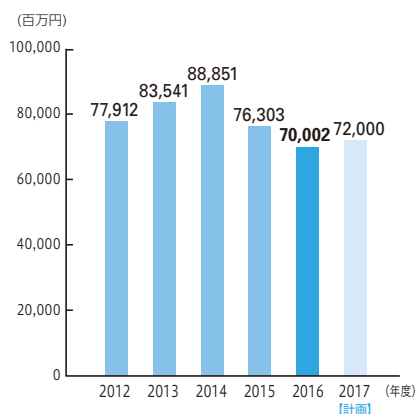
2期連続の減収、5期ぶりの経常利益減益

2016年度の連結売上高につきましては、ガス事業における原料費調整制度に基づく販売単価の低下などにより、前期に比べ6,300百万円(8.3%)減収の70,002百万円となりました。

利益につきましては、経常利益は前期に比べ1,465百万円(25.4%)減益の4,310百万円となりましたが、親会社株主に帰属する当期純利益は連結子会社の債務免除に伴う特別利益の計上により、1,912百万円(52.4%)増益の5,560百万円となりました。

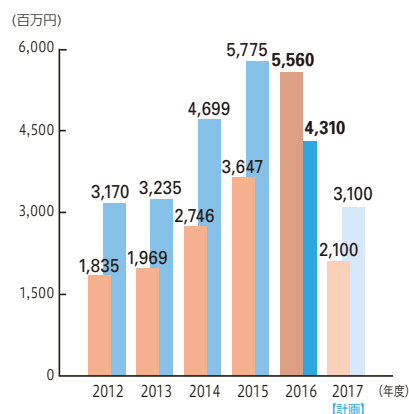
◎ 収支状況

● 売上高



● 利益

■ 経常利益 ■ 親会社株主に帰属する当期純利益



● 事業別セグメント情報

【2016年度】

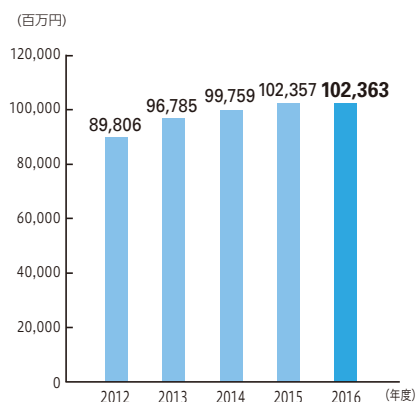
(単位:百万円)

	売上高	営業利益
ガス事業	54,396 (△12.0%)	2,984 (△31.3%)
LPG事業	13,433 (△2.7%)	592 (△2.7%)
その他	6,400 (72.0%)	173 (—)
調整額	△4,227	60
連結	70,002 (△8.3%)	3,812 (△30.4%)

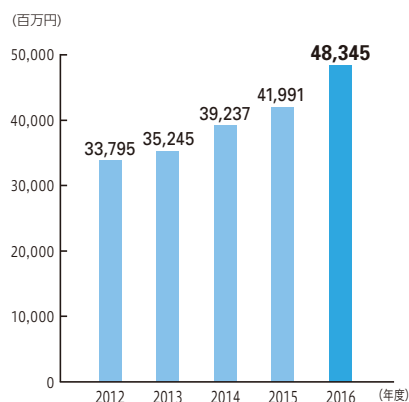
* ()内は対前期比です。
注)各セグメントの数値は百万円未満を切り捨てのため各セグメントと調整額の合計が連結合計と一致しない場合があります。

◎ 財政状況

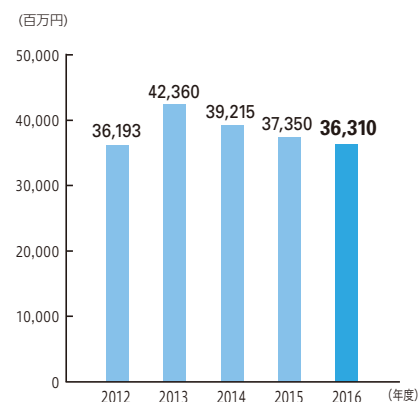
● 総資産額



● 純資産額



● 有利子負債残高

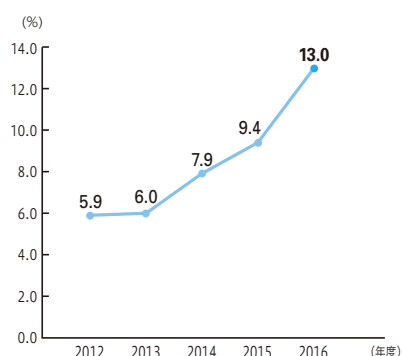


◎ 各事業に属する主要な製品の名称 → P.38

ガス事業 ……都市ガスの製造・供給および販売、他ガス事業者への卸供給など
LPG事業 ……LPガスの販売、LPガス充填業務、LPガス機器の販売など
その他 ……管工事を中心とした建設工事、エンジニアリング事業など

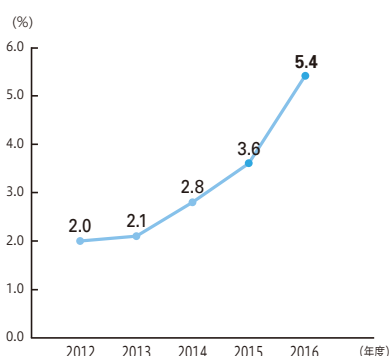
主な指標

●自己資本利益率 (ROE)



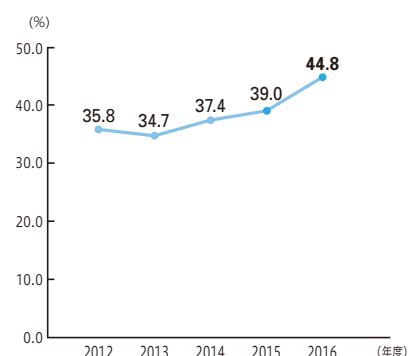
$$\text{自己資本利益率 (ROE)} = \frac{\text{親会社株主に帰属する当期純利益}}{\text{平均自己資本}} \times 100$$

●総資産利益率 (ROA)



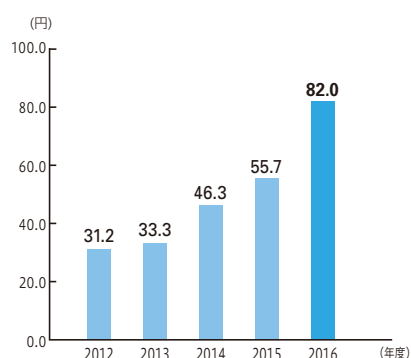
$$\text{総資産利益率 (ROA)} = \frac{\text{親会社株主に帰属する当期純利益}}{\text{平均総資産}} \times 100$$

●自己資本比率



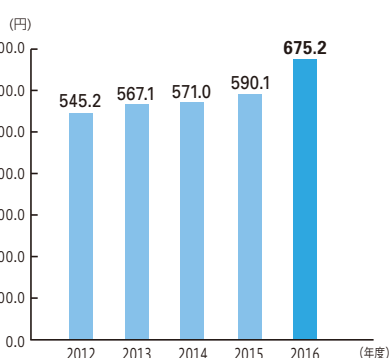
$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本}}{\text{総資産}} \times 100$$

●1株当たり当期純利益 (EPS)



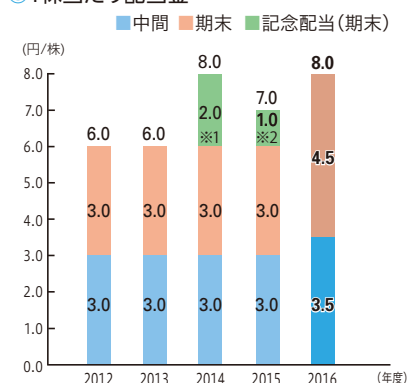
$$\text{1株当たり当期純利益 (EPS)} = \frac{\text{親会社株主に帰属する当期純利益}}{\text{期中平均株式数}}$$

●1株当たり純資産 (BPS)



$$\text{1株当たり純資産 (BPS)} = \frac{\text{純資産}}{\text{期末発行済株式数 (自己株式を除く)}}$$

●1株当たり配当金



※1 東京証券取引所一部指定記念配当
※2 天然ガス供給開始20周年記念配当

単体の概要

お客さま戸数

(単位: 戸)

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	平均伸び率
お客さま戸数	412,793	410,353	409,185	408,490	409,881	△0.3%

ガス販売量

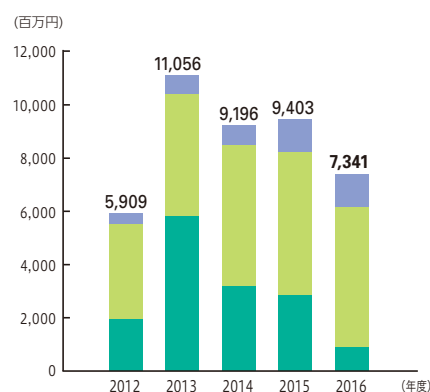
(単位: 千m³, 45MJ/m³換算)

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	平均伸び率
家庭用	105,486	103,130	103,866	100,244	99,329	△1.5%
商業用	48,244	47,728	45,389	43,871	44,692	△1.9%
工業用	262,078	258,695	242,213	242,183	255,322	△0.7%
その他用	37,857	38,890	37,264	36,264	38,385	0.3%
計	453,666	448,445	428,733	422,565	437,729	△0.9%
卸供給など	60,142	61,292	62,918	60,456	56,916	△1.4%
総計	513,808	509,737	491,651	483,021	494,646	△0.9%

注) 各販売量の数値は千m³未満を切り捨てのため、総計が各項目の合計値と一致しない場合があります。

設備投資額

■ 製造設備 ■ 供給設備 ■ 業務設備など



環境分野

低炭素社会の構築をめざし
クリーンエネルギー天然ガスの高度利用を基軸として
環境保全を推進していきます。

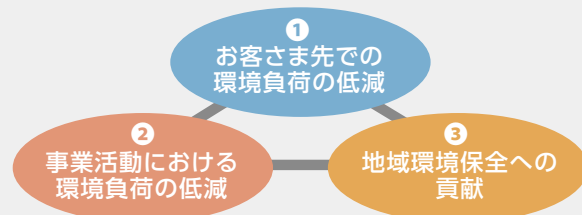
環境保全活動の基本的な考え方

1993年度に環境基本理念および環境行動指針を制定し、全社で環境保全活動を推進しています。環境保全活動は、関係会社を含めた企業グループ全体で取り組むことにより、一層大きな改善効果が期待できることから、2005年度に「広島ガスグループ環境基本理念」および「広島ガスグループ環境行動指針」を制定し、広島ガスグループとして環境保全への取り組みを推進しています。

■ 広島ガスグループ環境基本理念

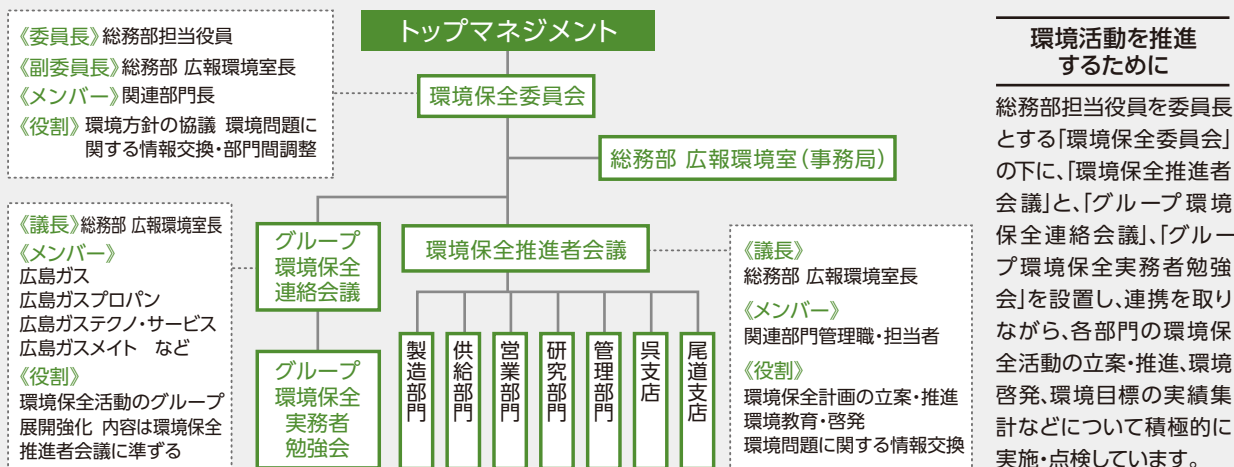
広島ガスグループは、
事業活動を通じてエネルギーと資源の効率的利用を
追求するとともに、地域・地球環境保全を推進し、
社会の持続可能な発展に貢献する。

■ 広島ガスグループ環境行動指針



環境行動指針を支える環境マネジメント

■ 環境活動推進体制 (2017年4月1日現在)



都市ガス(広島ガス)の組成

LNGを主原料に都市ガスを製造し、ガス導管を通じてお客さまにお届けしています。

【都市ガスの性状】

成分およびその含有量(天然ガス供給区域)

成分			組成	
名称	化学式	体積%	ガス種	13A
メタン	CH ₄	91	標準熱量	45MJ/m ³
エタン	C ₂ H ₆	5	比重(空気=1)	0.640
プロパン	C ₃ H ₈	2	CO ₂ 排出係数	2.29kg-CO ₂ /m ³
ブタン	C ₄ H ₁₀	2		

(注) ガス組成は代表値を示す。

比較

LCA^{※1}による化石燃料の温室効果ガス排出量の比較

この表は、化石燃料が採掘から燃焼までの各区分で排出する温室効果ガス排出量(CO₂換算値)を比較しており、LNG(液化天然ガス)やLPG(液化石油ガス)が、他の化石燃料と比べ、LCA評価においても優位性があることを示しています。

区分	石炭	石油	LPG	LNG
生産	4.58	4.06	4.94	9.17
輸送	1.71	0.79	1.80	1.97
設備	0.11	0.08	0.11	0.04
燃焼	88.53	68.33	59.85	49.40
合計	94.93	73.26	66.70	60.58
指数 ^{※2}	100	77	70	64

※1 LCA:ライフサイクルアセスメント

原材料の採取から製造、使用および廃棄に至るすべての過程を通じて、製品が環境に与える影響の大きさを定量的に整理、評価する手法。表の数値は、温室効果ガス排出量をCO₂換算し、総発熱量ベースで算出。

※2 指数は、石炭を100とした場合の温室効果ガス排出量比。

〈資料〉LNGおよび都市ガス 13Aのライフサイクル温室効果ガス排出量の未来予測、「エネルギー・資源」Vol.28 No.2(2007)

環境保全・生物多様性への考え方

広島ガスグループは、環境特性に優れた天然ガスを中心とするエネルギー供給事業者として、環境保全・生物多様性に配慮した事業展開を幅広く認識し、環境保全活動に真摯に取り組むことで、社会の持続可能な発展に貢献していきます。



パラスト水確認作業
LNG(液化天然ガス)輸送時に外来生物リスクを低減するため、パラスト水を管理しています。



エヒメアヤメ生息地下草刈り(三原市)



エヒメアヤメ(国の天然記念物)

環境啓発活動

広島ガスグループ環境講演会

開催日 / 2017年5月25日(木)

講師 / 東京ガス株式会社 環境部長 小林 勝彦 様

テーマ / 「昨今の環境関連の情勢、
それに伴うエネルギー事業者のあり方は」



広島ガスグループ環境講演会

温暖化対策・温室効果ガス削減に向けた動き、低炭素社会への貢献

世界

2016年11月 パリ協定発効

目標

世界の平均気温上昇を産業革命前と比べて2℃未満に抑える
(先進国・開発国を含む国・地域が参加)

日本

中期目標

2030年度において2013年度比で26%の温室効果ガスを削減

政府案部門別削減目標目安		ガス業界・広島ガス	
部門	政府目標目安	ガス業界・広島ガスで貢献できること	参照ページ
家庭部門	39%減	・天然ガスの普及拡大 ・家庭用燃料電池「エネファーム」など高効率機器の普及拡大	⇒P.21 ⇒P.22
業務その他部門	40%減	・天然ガスの普及拡大 ・業務用高効率機器の普及拡大 ・エコオフィスの推進	⇒P.21 ⇒P.22 ⇒P.24
産業部門	7%減	・燃料転換による天然ガスの普及拡大 ・業務用高効率機器の普及拡大	⇒P.21
運輸部門	28%減	・天然ガス自動車の普及拡大	⇒P.22
エネルギー 転換部門	28%減	・工場でのエネルギー使用の効率化 ・業務施設などにおける再生エネルギー設備の導入	⇒P.23 ⇒P.24

環境省「地球温暖化対策計画」より
エネルギー起源CO₂数値

① お客さま先での環境負荷の低減

天然ガスの環境性・安定性

▶ 環境性

天然ガスはクリーンなエネルギーです。化石燃料の燃焼生成物など発生量比較(石炭を100とした場合)



天然ガスは、石油や石炭に比べ、燃焼時に排出されるCO₂や有害物質の量が少ないため、化石燃料の中でもクリーンなエネルギーといわれています。
出典:「エネルギー白書2013」資源エネルギー庁

▶ 供給安定性

天然ガスは、世界に広く豊富に存在しています。広島ガスは、ロシア(サハリン)などで採掘され、精製・液化されたLNG(液化天然ガス)を輸入し、廿日市工場で受け入れています。また、近年、採掘技術の向上により、シェールガス、コールベッドメタン、タイトサンドガスといった従来では採掘が困難であった非在来型天然ガス資源が産出可能となり、安定した供給が見込まれています。

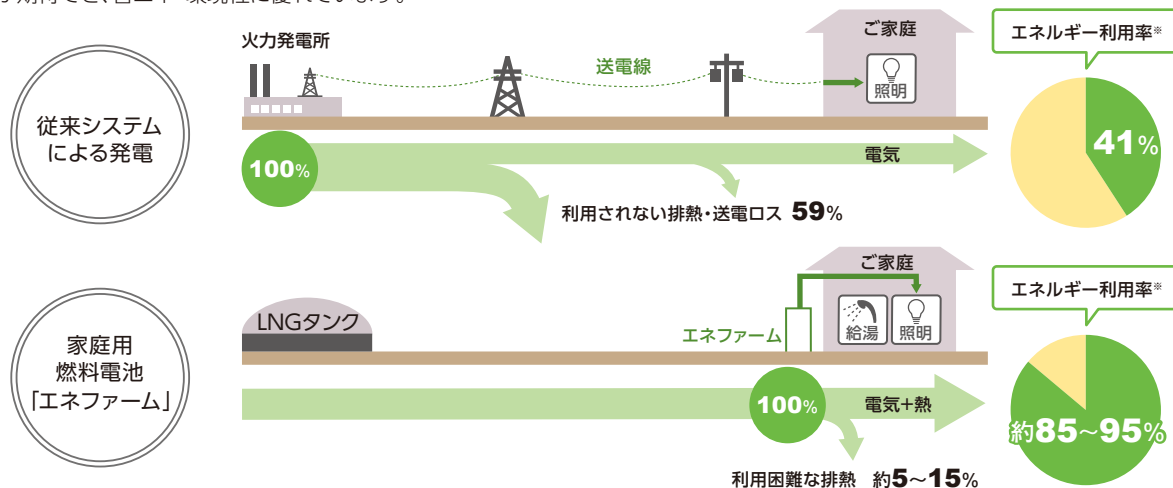
さらに、日本の近海には、日本の年間消費量の約100年分に相当するメタンハイドレートが存在しており、政府主導による開発が進められています。

エネルギー利用効率の高いガスコージェネレーションシステム

ガスコージェネレーションシステムは、天然ガスを使用して発電するとともに、同時に発生する熱を給湯や冷暖房で利用することで、エネルギーを効率的に利用できるシステムです。

発電所で発生する熱は、そのほとんどが捨てられてしまいます。また、遠く離れた家庭に電気が運ばれてくるまでに、送電ロスなどが発生します。

エネファームなら、使う場所がエネルギーをつくる場所。だからロスが少なく、熱も活用できます。エネルギー利用率は約8割〜9割が期待でき、省エネ・環境性に優れています。



出典:「出日本ガス協会」

燃料転換の取り組み(工業用)

広島ガスでは、天然ガス販売量の約5割は工業用のお客さまが占めています。広島ガスが供給する天然ガスは半導体工場・自動車工場・製鉄所などさまざまな業種の生産工程において利用されています。

溶解炉、熱処理炉などの工業炉やボイラの燃料を重油などの油燃料から天然ガスへと燃料転換することで、お客さま先におけるCO₂排出量の抑制に貢献しています。油燃料から天然ガスへの燃料転換によりCO₂排出量は約25%削減が可能となります。



ガス工業炉

天然ガス高効率利用の促進(家庭用)

天然ガスの普及拡大を図りつつ、エネルギーの高度利用を推進すること、具体的には太陽光などの再生可能エネルギーの出力変動を天然ガスで補完することなど、さらなる省エネ・省CO₂、ZEH* (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス) へ貢献するとともに、便利で快適な暮らしをご提案します。

*ZEH・・・年間の一次消費エネルギー量の収支をプラスマイナス「ゼロ」にする住宅

家庭用高効率機器の普及

【環境にやさしい未来型住宅(スマートエネルギーハウス)の提案】

— ガス — 電力 — 温水

W(ダブル)発電 “省エネ住宅から創エネ住宅へ”

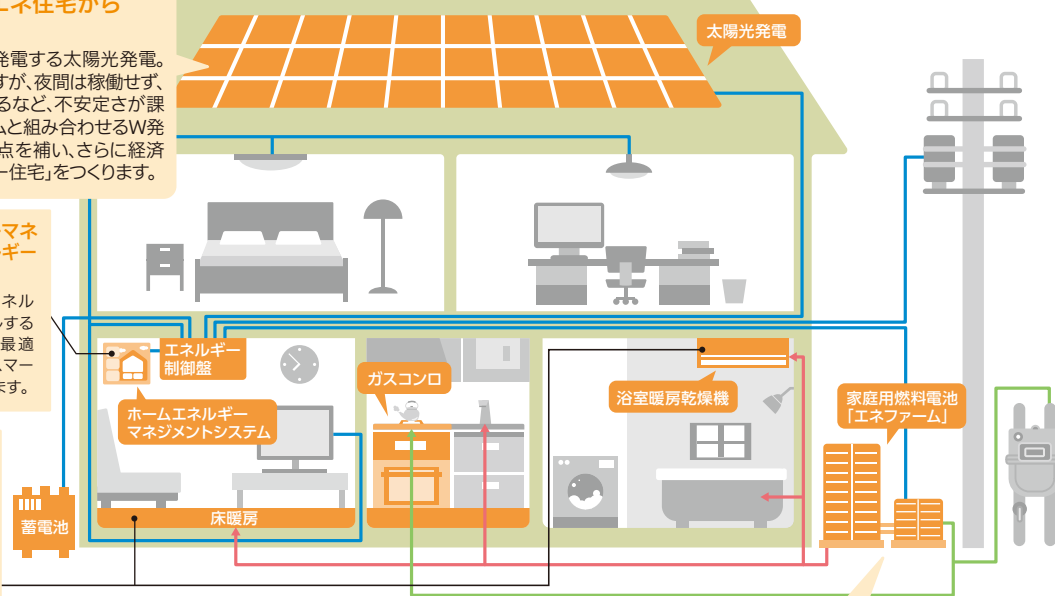
太陽の光エネルギーで発電する太陽光発電。クリーンさは最大の魅力ですが、夜間は稼働せず、雨天時は発電量が低下するなど、不安定さが課題です。そこで、エネファームと組み合わせるW発電により、太陽光発電の弱点を補い、さらに経済的に効果的な「創エネ住宅」をつくります。

HEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)でエネルギーを最適利用

HEMSによって家庭内のエネルギーを見える化、コントロールすることで「創る、ためる、使う」を最適化し快適で環境にやさしい「スマートハウス」での暮らしを実現します。

ガス温水式床暖房・浴室暖房乾燥機

温水を循環させて暖房や衣類乾燥に使用します。電気の使用量は非常に少ないので、ピーク時の電力使用量を大幅に削減できます。



高効率給湯器「エコジョーズ」(累計販売台数38,251台)

(2017年3月31日現在)



高効率給湯器「エコジョーズ」

従来利用されていなかった排熱をコンデンス技術を使って再利用し、熱効率を80%から95%まで引き上げた高効率給湯器です。

家庭用燃料電池「エネファーム」



P社製(固体高分子形)



A社製(固体酸性物形)

家庭用燃料電池「エネファーム」(累計販売台数1,449台)

(2017年3月31日現在)

「エネファーム」は、天然ガスなどから取り出した水素と空気中の酸素の化学反応で発電し、その際発生する熱を利用してお湯をつくります。従来型給湯器によるシステムと比べて、CO₂排出量を標準家庭で年間約1.2t抑える発電効率が高い最先端の発電・給湯暖房システムです。

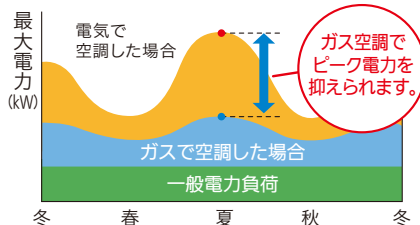
天然ガス高効率利用の促進(商業用)

業務用高効率設備・機器の普及

ガスヒートポンプ(GHP)・ガス吸収冷温水機(ナチュラルチラー)の普及促進

ガスヒートポンプ・ガス吸収冷温水機は、ガスで空調するシステムで、夏期・冬期における電力のピークカットに大きな効果を発揮します。

【GHPによる消費電力の平準化(イメージ)】



ガスヒートポンプ(GHP)



ガス吸収冷温水機(ナチュラルチラー)

天然ガス自動車の普及促進

天然ガス自動車(NGV)は、ガソリンや軽油の代わりにクリーンな天然ガスを燃料に走行する自動車です。その排出ガスには、発ガン性が指摘されている黒煙(粒子状物質)や酸性雨の原因となる硫酸化合物が含まれず、地球温暖化の原因となるCO₂もガソリン車に比べて低く抑えることができます。



天然ガストラック

環境技術開発(広島ガス技術研究所)

省エネ機器・システムの開発

金属繊維マットの表面で燃焼するブラスト式バーナと周辺構成パーツを開発しました。

当システムは、共同開発パートナーの(株)正英製作所から販売され、すでに500台程度が業務用厨房機器用に搭載され、お客さま先にてお使いいただいています。優れた制御性と排熱回収による高い省エネ性を有し、お客さま先でのCO₂排出抑制に貢献しています。



高効率表面燃焼ガスバーナ

② 事業活動における環境負荷の低減

ガス導管工事における排出物削減と再資源化

新工法の採用、再資源化の推進などによりアスファルト・コンクリート・土砂などの排出量の削減に努めています。

▶ ガス導管工事における掘削土の削減と再資源化



◎非開削工法による掘削土の削減

道路を掘らずにガス導管を埋設する工法

◎浅層埋設による掘削土の削減

道路に埋設するガス導管の深さを従来より浅く埋設する工法

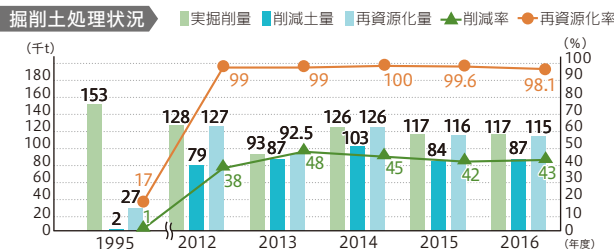
◎掘削幅縮小による掘削土の削減

道路掘削幅を従来より縮小

◎掘削土の直接埋め戻しまたは再資源化処理し再利用

ガス導管工事で排出された土砂のうち、良質のものまたは再資源化したものを埋め戻しに使用

これらの取り組みにより、山砂などの採掘量を減らし、生態系への影響を低減しています。



▶ ポリエチレン管の普及促進と廃材の再資源化



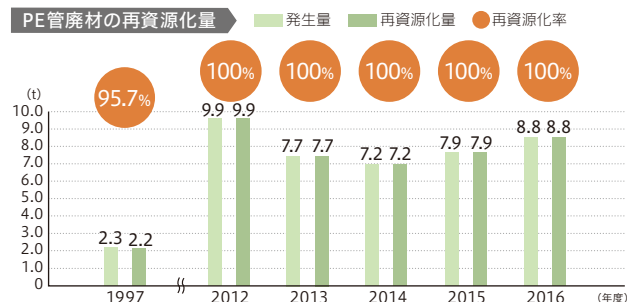
ガス導管には耐食性・可とう性に優れ地震にも強いポリエチレン管 (PE管) を1989年から採用しています。また、不要になったPE管は100%再資源化しています。



ポリエチレン管リサイクル品 (病院向けボックス)



ポリエチレン管の可とう性



工場におけるエネルギー有効利用

2004年9月、廿日市工場にガスコージェネレーションシステムを導入し、排熱の活用により、CO₂排出量の抑制に寄与しています。また、余剰電力は小売電気事業者などへ卸売供給しています。

2016年度のCO₂発生量は、天然ガス転換による効果と合わせて、1990年度に比べ約10万t、約83%削減できました。

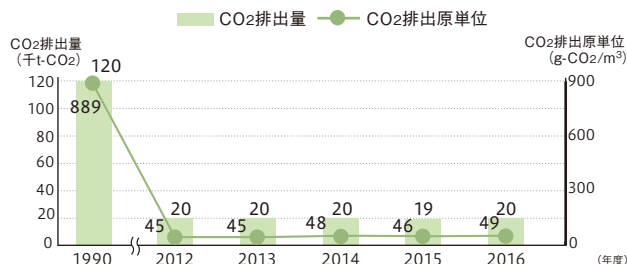


ガスコージェネレーションシステム (廿日市工場)

廿日市工場ガスコージェネレーションシステム概要

- ・発電容量 / 11,000kW (高効率天然ガスエンジン5,500kW×2基)
- ・送電容量 / 最大10,000kW (特別高圧22kV)
- ・総合効率 / 約78% (発電効率42%、熱回収効率36%)

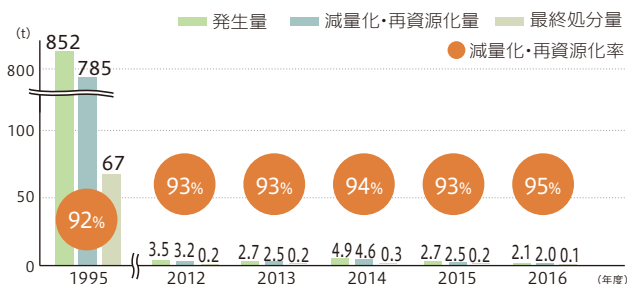
都市ガス製造におけるCO₂排出量と原単位



産業廃棄物の削減と再資源化

原料を天然ガスに転換したことにより、製造所からの産業廃棄物排出量は激減しました。

産業廃棄物 (製造所) の減量化・再資源化



ISO14001認証取得

都市ガス製造所 [廿日市工場、備後工場、東広島製造所] はすべて取得済みです (審査登録機関: (一財) 日本ガス機器検査協会JIA-QAセンター)。



ISO14001登録証・付属書

再生可能エネルギーの活用

呉市の旧阿賀工場跡地にて大規模太陽光発電所(733kW)を運転し、本社ビル、支店、ショールームでは太陽光発電パネルを設置しています。

また、中国電力㈱と共同で進めている海田地区におけるバイオマス混焼発電所については、2017年1月に環境影響評価手続きを終え、引き続き事業可能性の検討を行っています。

太陽光やバイオマスなどの再生可能エネルギーを活用することで、環境負荷の低減に努めています。



阿賀太陽光発電所(呉市)

【海田地区において検討中の発電所概要】

発電出力	11.2万kW(発電端)
使用燃料	バイオマス、石炭、天然ガス*

* 助燃・バックアップ

事業所における省エネと資源の有効活用

▶エコオフィス活動の推進

事務所におけるCO2排出削減、廃棄物排出の削減などを推進しています。全国的な節電の必要性などを踏まえ、オフィスに加え家庭での省エネ行動例を社内周知しています。



ペーパーレス会議

《エコオフィス活動項目》

- ①エネルギー消費の低減
節電、空調管理、節水、公共交通機関の利用促進、クールビズ(5月～10月)の実践、省エネ機器(LED照明など)への更新など
- ②資源消費の低減
紙の使用削減と再資源化、タブレット端末の導入など
- ③廃棄物の発生抑制と適正処理
ごみの分別強化、リサイクル推進など
- ④自動車管理、低公害車の導入
使用頻度の少ない車の契約解除対応
- ⑤自転車の活用による環境保全
近隣・市内中心部へ移動の際、自転車を活用
- ⑥全社掲示板による環境保全啓蒙活動

環境に関する法令遵守

2016年度は、環境に関する法令違反や罰則の適用はありませんでした。

▶省エネ法への対応

省エネ法(エネルギーの使用の合理化等に関する法律)ならびに温対法(地球温暖化対策の推進に関する法律)に基づき、エネルギー管理統括者などの選任、ならびに全事業所を対象とした定期報告書および中長期計画書などを監督官庁である中国経済産業局に提出しました。

また、経済産業省が創設した「事業者クラス分け評価制度」では、2016年度においてもSクラス(優良)と評価されました。

今後も、法令に基づきエネルギーの有効活用に努めていきます。

▶自動車環境管理

広島県条例「広島県生活環境の保全等に関する条例」に基づき、自動車使用合理化実施状況報告書、広島市条例「広島市地球温暖化対策等の推進に関する条例」に基づき、自動車環境報告書などを行政に提出しました。

▶土壌調査とその対応

天然ガス転換完了を機に石炭を主原料としていた旧海田工場ならびに旧阿賀工場の製造設備跡地の土壌調査を自主的に行った結果、ヒ素、シアンなどによる汚染が判明しましたので、2003年12月に公表するとともに近隣の皆さまへの説明を行いました。調査の結果からも周辺の生活環境への影響はないものと考えていますが、将来にわたる周辺への影響を防止するため対策工事を実施し、2004年度に完了しました。

その後も両用地とも地下水モニタリングを実施しており、海田工場跡地(現:海田基地)については、揚水井戸、水処理装置を使用して、揚水による浄化を継続しています。



水処理装置(海田基地)

▶産業廃棄物処理場の実地確認

廃棄物処理法(「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」)、広島県条例に基づき、広島ガスグループから産業廃棄物として排出される処理場の実地確認を行っています。



産業廃棄物処理場

▶化学物質の管理

【PCB(ポリ塩化ビフェニール)の管理】

トランス、コンデンサーなどに使用されていたPCBは保管場所に集積・管理し、2014年5月に、高濃度PCBの無害化処理を実施しました。2015年9月に低濃度PCBの無害化処理を実施しました。

【水銀含有機器の処分】

2013年水俣条約が採択、2015年「水銀による環境の汚染の防止に関する法律」が制定・公布され、広島ガスおよび広島ガスグループの水銀含有機器の調査・回収・処分に着手しています。

【PRTR法*への対応】

化学物質の取り扱い量は、天然ガス転換により激減し、2016年度は、規定量の届出物質はありませんでした。

*PRTR法: 特定の化学物質を規定量以上取り扱った際に排出・移動量を届け出ることを定めた法律

【アスベスト使用状況調査とその対応】

広島ガスおよびグループ会社3社は、アスベストに関する健康被害状況と自社所有建物および設備などにおける使用状況を調査しました。その結果、健康被害はありませんでしたが、一部使用が確認され、除去作業を2005年に完了し、調査結果を同年公表しました。

③ 地域環境保全への貢献

地域清掃活動

毎月一回、各事業所周辺の美化活動を実施するとともに、ひろしまフラワーフェスティバル、ひろしま男子駅伝、クリーン太田川、平和記念公園一斉清掃などの行政など外部団体主催の清掃イベントにも参加しています。



事業所周辺清掃



平和記念公園一斉清掃

環境教育・環境啓発活動

行政・学校・地元企業・地域と連携し、環境保全・教育活動を推進するとともに、ショールームでの調理実習などの体験型学習を行っています。

年月	名称	内容
2016.7	先生方のためのエネルギー環境問題研修会	出張授業の紹介、エネルギー環境教育セミナー、廿日市工場見学ほか
年間を通じて	教育支援(エコ・クッキングなど)	社会分野(P.31)を参照ください
	出張環境講演会	地元企業などでの環境講演会

各種環境フェアなどへの出展

CSR活動や、天然ガスの環境性や省エネ型ガス機器の紹介などを実施しています。

年月	名称	内容
2016.6	環境の日ひろしま大会(広島県環境イベント)	燃料電池実演、省エネガス機器紹介、太陽光発電キットの実演
2016.7	2016ひろしま温暖化ストップフェア(広島市環境イベント)	燃料電池実演、省エネガス機器紹介、都市ガスポリエチレン管紹介
	ひがしひろしま環境フェア2016	燃料電池実演、都市ガスポリエチレン管紹介
2016.9	くれエコフェスタ2016	ガスのある暮らし体験会
2016.10	はつかいち環境フェスタ2016	燃料電池実演、都市ガスポリエチレン管紹介
2017.2	府中町緑の仲間フェスタ	燃料電池実演、都市ガスポリエチレン管紹介



はつかいち環境フェスタ2016



府中町緑の仲間フェスタ

地域環境保全推進団体・環境啓発事業への参画

広島県の行政・団体・企業により構成されている各種の環境保全推進組織に委員などとして参画し、環境啓発・教育・イベントなどを支援しています。

団体・事業	事務局	支援活動
ひろしま地球環境フォーラム	広島県	イベント運営など
広島県地球温暖化防止活動推進センター	広島県環境保健協会	イベント支援・関係会議への出席など
ひろしまエコパートナー	広島市	イベント支援・環境講座実施など
広島市地球温暖化対策地域協議会	広島市	イベント支援・関係会議への出席など
くれ環境市民の会	呉市	イベント支援・関係会議への出席など
エコネットひがしひろしま	東広島市	イベント支援・関係会議への出席など
中国地域エネルギー・温暖化対策推進会議	中国経済産業局	関係会議への出席など
広島商工会議所環境行動計画に係るWG	広島商工会議所	工場見学など



ひろしま地球環境フォーラムイベント(クリーン&サンフレッチェ運営)

環境CM制作

(株)中国放送のラブグリーン事業(緑あふれる広島を未来に引き継ぐ活動)に協賛し、環境CMを制作しました。



ホームページ参照(動画)

<http://www.hiroshima-gas.co.jp/home/cm/>

テレビ放映、ラジオ放送

(株)中国放送(RCC)テレビ、RCCラジオにて放映
期間: 2017年5月~2018年3月

環境負荷低減フロー (2016年度実績)

環境保全活動における
お取引先との関係

廿日市工場・備後工場・東広島製造所においては、LNG船、LNGローリーなどの役務提供者および購買先に対して、環境保全活動(サプライチェーン・マネジメントなど)への協力を依頼しています。

●環境保全に関する覚書 ●安全環境教育



経営分野

環境分野

社会分野

環境目標および実績

環境保全活動を効果的に推進するため、環境目標を設定し、見直しを行いながら活動を進めています。

2016年度～2020年度 環境目標

*行政など目標値

■ 目標 ■ 実績

環境行動指針	環境目標	2016年度 目標・実績	2017年度 目標
①お客さま先での環境負荷の低減 広島ガスグループは環境負荷軽減に寄与する製品・サービスの提供を推進し、お客さま先での環境負荷の低減に努める。	① お客さま先でのCO ₂ 排出量を年間1万t以上削減する。	(万t-CO ₂) 2.7 0.7 未達 ※大口顧客の販売時期のずれのため	2.9以上
	② * ガス製造工場の過去5年の前年比エネルギー使用原単位平均を1%以上削減する。	(%) -1 9.6 未達 ※工場コージェネレーションの稼働時間減のため	1以上減
	③ * オフィスの過去5年の前年比エネルギー使用原単位平均を1%以上削減する。	(%) -1 0.2 未達 ※ショールーム増加のためなど	1以上減
	④ * 低公害車の割合を2020年度までに70%とする。	(%) 54 58 達成	58以上
	⑤ * 広島ガス事業活動(都市ガス製造時)におけるCO ₂ 排出原単位を、55g-CO ₂ /m ³ (販売ガス量)以下を維持する。	(g-CO ₂ /m ³) 55 49 達成	55以下
	⑥ * 産業廃棄物最終処分量(製造部門)を、2020年度まで1t以下を維持する。	(%) 1 0.1 達成	1以下
	⑦ ガス導管工事から発生する掘削土量を、従来工法に比べ35%以上削減を維持する。	(%) 35 43 達成	35以上
	⑧ ガス導管工事から発生する掘削土量の再資源化率85%以上を維持する。	(%) 85 98 達成	85以上
②事業活動における環境負荷の低減 広島ガスグループの事業活動が環境に与えている負荷を軽減するとともに、環境マネジメントの強化を図り、ゼロエミッションをめざした3R(廃棄物などの発生抑制、再使用、再資源化)を積極的に推進する。	⑨ CSR・環境分野でのお客さま・地域の方との接点を年間15,000人以上とする。	(人) 13,000 13,600 達成 [CSR] [環境] 2,000 3,700 達成 ※環境	13,000以上 2,000以上

環境会計

事業活動における環境保全のためのコストとその活動による効果を定量的に把握するのが環境会計です。環境に関わるコストと効果を、環境省の「環境会計システムの確立に向けて〈2000年報告〉」をベースにした(一社)日本ガス協会の「都市ガス事業における環境会計導入の手引き」(2002年10月改定)に基づき集計しました。

2016年度の集計実績

▶環境保全コスト

(単位：百万円)

環 境 保 全 コ ス ト 項 目			投資額		費用額	
主な内容(例)			2015年度	2016年度	2015年度	2016年度
自 社 業 務	公害防止	大気汚染、水質汚濁、騒音などの防止のための設備投資額、維持管理費、減価償却費、人件費など	4	8	18	21
	地球環境保全	省エネルギー、エネルギー有効利用、オゾン層保護などのための設備投資額、維持管理費、減価償却費、人件費など	142	122	15	19
	資源循環	掘削残土削減、再資源化、廃棄物管理などのための設備投資額、維持管理費、減価償却費、人件費など	0	1	7	5
	環境マネジメント	グリーン購入、環境教育、EMS構築、環境対策組織などのコスト	0	2	17	17
	その他	工場立地法や条例に基づく工場の緑化など(主要内容：旧海田工場・旧阿賀工場土壌浄化工事)	0	0	23	14
お客さま先	環境R&D※	環境負荷低減技術、高効率機器・システム開発のための研究開発コスト	20	5	26	26
社会貢献活動	自主緑化、景観保持、自然保護、美化地域の環境活動支援、環境広告、環境情報公表など		0	0	20	23
合 計			166	138	126	125

※環境R&Dとは、研究開発コストのうち環境保全のためのものをいいます。

2016年度の効果

【環境負荷水準】

環境負荷水準	2015年度	2016年度
NOx原単位(製造) (mg/m ³)	42	80
CO ₂ 原単位(製造) (g-CO ₂ /m ³)	46	49
CO ₂ 原単位(オフィス) (g-CO ₂ /m ³)	6	7
掘削発生土外部排出量 (千t)	1	2
産業廃棄物発生量(最終処分量)(t)	24	27
一般廃棄物発生量(最終処分量)(t)	14	17

【企業内経済効果】

(単位：百万円)

経済効果	2015年度	2016年度
掘削発生土外部排出量削減に伴う経費削減額	268	287
燃料ガス使用量削減による経費削減額	269	116
ガスコージェネレーション発電に伴う売電収入	634	394
太陽光発電に伴う売電収入	38	38
その他	1	1
合 計	1,210	836

【全社設備投資額における環境設備投資額比率】

	2015年度	2016年度
全社設備投資額(百万円)	9,403	7,341
環境設備投資額比率(%)	1.8	1.9

【全社総売上高における環境費用額比率】

	2015年度	2016年度
全社総売上高(百万円)	59,763	52,505
環境費用額比率(%)	0.2	0.2

①経済効果については、自家発電や、ガス導管工事における掘削発生土の削減、太陽光発電に伴う売電収入などにより、836百万円の効果となりました。

②ガスコージェネレーション発電に伴う売電収入は、稼働時間の短縮により、減少しました。

③太陽光発電に伴う売電収入は、年間38百万円を計上しました(発電量888千kWh)。

社会分野

地域の皆さまとともに、
持続可能な社会の実現に向けた取り組みを推進していきます。

地域社会との関わり(芸術・文化振興、地域振興、スポーツ振興、教育支援)

広島ガスは、とりわけ広島に関わりの強い企業であり、さまざまな社会貢献活動を実施しています。活動にあたっては、「芸術・文化振興」、「地域振興」、「スポーツ振興」、「教育支援(次世代教育への取り組み)」の4分野を軸に展開しています。

《 芸術・文化振興、地域振興 》

「第30回広響ホットコンサート」の開催

▶お客さま、地域の皆さまに日ごろの感謝の気持ちを込めて

中国地方唯一のプロオーケストラである「広島交響楽団(広響)」のサポートと地域貢献を目的に、広響ホットコンサートを毎年9月に開催しています。

記念すべき30回目となる2016年度は、広島文化学園HBGホールにて「ソプラノの華 テノールの風『30年分のありがとう』をオペラ・オペレッタにのせて」と題して、ソリスト2名を迎え、華やかな名曲をお届けしました。記念演奏として1987年に開催された第1回広響ホットコンサートでの演奏楽曲を披露し、1,544人のお客さまにお楽しみいただきました。また、コンサート会場にて広島交響楽団の社会貢献活動「音楽の芽プロジェクト」を応援する募金活動も行いました。



コンサートステージ

第41回ひろしまフラワーフェスティバルへの参加・神楽フェスティバルへの協賛

▶地域の皆さまとともに、地域の活性化に向けて

毎年5月3日～5日に開催され、全国的にも多くの来場者数を誇るひろしまフラワーフェスティバルは、広島東洋カープ初優勝のパレードがきっかけとなり、1977年の第1回開催以来、2017年で41回目の開催を迎えました。

広島ガスは、ブース出展として、「キッズスキー・スノーボード体験教室」や「火おこし体験教室」などを実施し、多くの皆さまにお越しいただきました。また、ステージ出展では広島ガスバドミントン部やスキー部の竹内智香選手のトークショーを開催するとともに、広島電鉄(株)と共同で神楽フェスティバル協賛をして地域の活性化に貢献しました。

環境保全の観点からも、他の企業と協力しながら、きれいな街づくりのために、JT(日本たばこ産業(株))が主催する清掃活動にも参加しました。



ひろしまフラワーフェスティバル GASLANDブース



キッズスキー・スノーボード体験教室



JT清掃活動への参加

「広島インドネシア協会」における国際交流活動

インドネシア共和国は、約2億5千万人(世界第4位)の人口をもつ国家であり、日本にとってますます重要な国になっています。

広島ガスでは、インドネシア共和国との友好・信頼関係を高めるとともに、両国間の交流推進を目的として、約220の法人・個人会員のご支援のもと、1996年から広島インドネシア協会の事務局を行っています。特に、多くのインドネシア留学生が在席している広島大学、広島で働いているインドネシア人看護師・介護福祉士の方々、インドネシアと関わりのある地元企業などと連携し、年間行事として総会・インドネシア共和国独立記念祭・講演会・インドネシア語講座・インドネシア料理を楽しむ会などの活動を行っています。



インドネシア共和国独立記念祭の様子

《 スポーツ振興 》

地域のスポーツ振興に向けた取り組み

スキー部

▶ 平昌オリンピックに向けて

スノーボード・アルペン競技の竹内智香選手は、2011年から広島ガスの所属として活動を続けています。左膝前十字靭帯断裂の怪我を乗り越え、2016年のワールドカップでも上位入賞を果たすなど、2018年開催の平昌(韓国)オリンピックでのメダル獲得を目標に、世界のトップ選手としてのぎをけずっています。



竹内智香選手



広島フラワーフェスティバル(2017年5月)

▶ 地域イベントでの交流

ひろしま観光大使として、スノーボード、スポーツのすばらしさを多くの方に伝えるため、地域のイベントにも参加しています。



イオンモール広島祇園でのトークショー
(2016年10月)



キッズスキー体験教室

バドミントン部

▶ バドミントン部の活動

1995年3月に創部した女子実業団チームで、2017年現在、2部リーグにあたる日本リーグに所属しています。上位リーグであるS/Jリーグ昇格を目標に活動を続け、全日本実業団選手権、国民体育大会をはじめ、多くの舞台で活躍しています。



中国実業団バドミントン選手権大会



3名の期待の新人選手の加入

▶ 地域貢献

地域貢献活動として、月1回程度中学生・高校生の広島県代表選手の指導、また地域の小学校などで講習会を行い、次世代の子どもたちにバドミントンを通してスポーツのすばらしさを伝えています。



バドミントン講習会(地域の子どもたちへの指導)



広島東洋カープ地元4社で合同応援を実施

地域の活性化をめざし、中国電力(株)、(株)広島銀行、(株)中電工、広島ガスの4社で地元プロ野球球団である広島東洋カープの合同応援を毎年実施しています。2016年度は8月に実施し、多くの役職員とその家族が、マツダZoom-Zoomスタジアムに集い、熱い声援を送りました。



カープ合同応援(2016年8月)

25年ぶりのリーグ優勝!

2016年はカープが25年ぶりのリーグ優勝を果たし、広島のマチを真っ赤に染めました。広島ガスも、優勝を記念して、各事業所に懸垂幕を掲げ、優勝の喜びを分かち合いました。



懸垂幕の掲示(呉支店)



懸垂幕の掲示(本社ビル)

サンフレッチェ広島「広島ガススポンサードゲーム」を開催

Jリーグ「サンフレッチェ広島」をサポートし、地域の活力アップにつながるようにとの願いを込め、毎年「広島ガススポンサードゲーム」を開催しています。多くの役職員がエディオンスタジアム広島に集結し、サポーターとともに熱い声援を送りました。



サンフレッチェ広島スポンサードゲーム(2017年4月)

《 教育支援(次世代教育への取り組み) 》

地域貢献活動の一環として、行政、教育委員会、学校、業界などと連携し、食育、火育、エネルギー・環境教育などの次世代教育に積極的に取り組んでいます。2015年から、新たに取り入れたライフライン防災教室の充実も図っています。

次世代教育活動をまとめた総合パンフレット・ホームページを毎年更新し、小学校・中学校を中心に、さまざまな対象学年や習熟度に応じて選択いただける出張授業などを紹介しています。



次世代教育プログラム
パンフレット



ホームページ「子どもエネルギー ACTION!!!」
<http://www.hiroshima-gas.co.jp/action/>

出張授業

食育

▶ エコ・クッキング※教室 小学生・中学生対象

※「エコ・クッキング」は、東京ガス㈱の登録商標です

食べ物やエネルギーを大切にすることを学び、地球のことを考えた調理を通じて環境について学ぶプログラムです。買い物・料理・片づけに関する学習を中心に、ガストピアセンターや小学校・中学校などで実施しています。



授業の様子

▶ 味覚教室 園児・小学生対象

基本の「味」とは何かを学びます。味覚教室では、味覚、視覚、嗅覚、聴覚、触覚の五感を養うことができます。

火育

▶ 火育教室 小学生対象

さまざまな炎を観察・比較し、炎を上手に扱うことでたくさんの恵みを受けられることを学び、火おこし体験などでもできる火育教室を実施しています。



授業の様子

エネルギー・環境教育

▶ サイエンスショー 小学生・中学生対象

理科や科学の楽しさについて、実験を通じてわかりやすく紹介する「サイエンスショー」を出張授業形式で展開しています。冷熱実験・燃焼実験や燃料電池実験に加え、天然ガスの特性や環境の大切さなどを伝えています。なお、サイエンスショーは、小学校・中学校に加え、県や市の公的な施設・イベントなどでも実施しています。

▶ 技術研究所 理科実験授業 小学生・中学生・高校生対象

技術研究所の理科実験授業では、天然ガスや燃料電池に関わる実験を通じて、「エネルギーと環境」について学校でわかりやすく伝えています。



実験の様子

防災教育

▶ ライフライン防災教室 小学生・保護者対象

中国電力㈱、広島市水道局と広島ガスが3者合同で、防災月間である9月に小学生とその保護者の方を対象とした防災教室を開催しています。子どもたちの防災意識を高めることを目的に、災害が起こった際に役立つ、ガス・電気・水道に関する知識を提供しています。



ライフライン防災教室の様子

科学講座

▶ スーパーサイエンスミュージアム(SSM)の実施 小学生対象

2016年度で14年目をむかえたSSMは、科学を通して子どもたちの豊かな感性・創造性を育てることを目的に、産・学・官が連携した広島県内の教育機関、学校、科学館などの関係者がプロジェクトを組み、2003年度から実施している取り組みです。

対象は小学校5～6年生の選抜メンバーで、広島ガスが事務局を務め、学習指導要領にとらわれない高度な理科講座を年間17回程度展開しています。講座には、博物館などとの連携プログラムも取り入れています。



遺伝子実験の様子

情報発信

すべてのステークホルダーの皆さまに広島ガスグループの活動などをご理解いただけるよう、さまざまな情報発信を行っています。具体的には、ホームページや各種法定書類などを通じたIRや環境保全に関する情報開示や、プレスリリース、グループ広報誌などを通じて必要な情報をタイムリーに発信しています。

報道発表

広島ガスグループのトピックスや財務状況などの情報は、記者会見、プレスリリースなどを適宜実施してマスコミに提供し、ステークホルダーの皆さまに迅速・確実に伝達されるよう、積極的な情報発信を行っています。



記者会見



ホームページ「プレスリリース」

IR関連

決算短信、有価証券報告書を発行しているほか、株主の皆さま向けの報告書を発行、会社説明会を実施するなど、適宜、広島ガスの活動内容や財務状況の全容を開示しています。



ホームページ「IR情報」(英語)



会社説明会(アナリスト向け)



会社説明会(個人投資家向け)

広島ガスホームページ

事業内容などを十分にご理解いただき、より多くの皆さまの快適な生活の創造にお役立ていただけるよう、ホームページにおいて多彩な生活情報・ガス器具やガスの保安に関する情報などを適宜ご提供しています。

<http://www.hiroshima-gas.co.jp/>



ホームページ画面

グループ広報誌

広島ガスグループ役職員が経営重要事項をしっかりと情報共有することで、グループ全体の価値向上を図ることを目的に、グループ広報誌「GASLAND」を年6回発行しています。グループ会社の役職員に加え、同業他社、取引先企業、マスコミ関係者、官公庁、県内教育機関、オピニオンリーダーなどにも配布し、広島ガスグループの状況を社外の皆さまにお伝えするツールとしても活用しています。



グループ広報誌「GASLAND」

お客さま満足度向上の取り組み

消費者団体との懇談会

◎お客さまにガス事業を知っていただくために

広島ガス事業の取り組みについて地域の皆さまに理解を深めていただくため、(公社)広島消費者協会との懇談会を毎年開催しています。



(公社)広島消費者協会との定例懇談会

イベント活動

◎安心で快適なガスライフを発信しています

住宅展示場や広島ガスショールームでのイベントを通じて、ガス機器のよさを体感していただき、安心で快適なガスライフを広める活動をしています。



住宅展示場での出展ブース

2016ガス展

2016年度は、「あなたにHIT!くらしにFIT!」をテーマに、広島地区においては、2回のガス展を行い(広島県立広島産業会館・広島グリーンアリーナの2会場)、約4万7千人のお客さまにお越しいただきました。呉・尾道・広島ガスプロパングループでもガス展を開催し、お客さまには、日ごろの感謝の気持ちをお伝えするとともに、エネファームなどの最新ガス機器の展示・体験を通して、ガスのある快適で環境にやさしいくらしを提案しました。



広島会場



呉会場



尾道会場

求める人材像「お客さま、地域社会、一緒に働く仲間から信頼される人材」

広島ガスが求める人材像は、「お客さま、地域社会、一緒に働く仲間から信頼される人材」です。具体的には、公益事業者としての強い使命感を持ち、主体的に取り組み、努力を惜みず、まわりの仲間と一緒に成長し続け、そして、つねにお客さま視点で考え、行動できる人材です。従業員全員が、この「求める人材像」をめざして、さまざまな取り組みを行っています。

全員が総合職

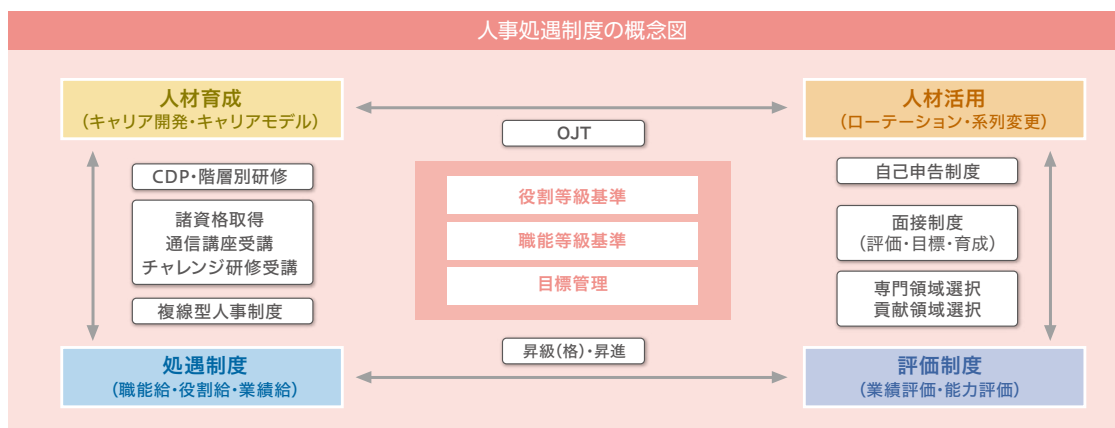
ガス事業は、保安の確保と安定供給を前提として成り立つ事業であり、事業運営をより安定的かつ効率的に進めることが求められています。そのためには、すべての部署が協力して物事を進めることが大切で、従業員全員が自分の職場や役割を超え、つねに全体のリスク低減や全体最適を考え、行動することが必要

であるため、従業員は全員総合職として活躍しています。製造・供給・営業・管理業務など、さまざまな業務を経験することが可能であり、本人の適性や希望も踏まえ、適材適所で個人の能力が最大限発揮できるような配属を行っています。

人事処遇制度

2020年ビジョンの基本方針の一つとして、「公正かつ透明で風通しのよい組織へ変革し、地域の好感度No.1の企業グループとなる」ことを掲げています。会社が発展していくためには従業員一人ひとりの成長が必要であり、「やりがい・働きがいの向上」に向けて、役職員全員が組織の目標達成をめざしてチャレンジし、努力・協力を継続できる仕組みづくりが大切です。

広島ガスでは、従業員一人ひとりの能力を伸ばし、さらに個人が発揮した能力や役割遂行、業務課題の達成度を公平・公正に評価し、適正に処遇へ反映させる人事処遇制度を構築・運用しています。そのために能力や成果を評価する評価者に対しては、集合研修や評価者訓練などを実施しています。



人材育成制度

業務に直結する専門技術や技能の習得・向上研修に加え、従業員個人の資質向上のための研修や自己啓発支援など、人材育成

のためにさまざまな取り組みを行っています。従業員のチャレンジを支援し、その成果を人事処遇制度とリンクさせています。

【2016年研修体系図】

	新入社員	管理職
階層別研修 (役割認識とマネジメント力強化)	新入社員研修	主任研修 係長研修 課長代理研修 新任管理職研修 管理職研修
キャリア開発研修(CDP) (生涯の仕事生活を通じた成長と能力開発)	CDP1 (入社半年後研修) CDP3 (入社3年目研修)	CDP8 (入社8年目研修) CDP40 (40歳次研修) CDP50 (50歳次研修)
チャレンジ研修 (テーマ別のスキルアップ)	〈理解判断力〉〈創意工夫力〉〈コミュニケーション力〉〈問題解決力〉〈企画力〉〈折衝・調整力〉 〈指導力〉〈決断力〉など	
ガス技能研修 (社内資格研修など)		技能資格研修〈営業(機器関係など)〉・〈供給(配管関係など)〉 技能向上研修(スキルアップ)〈営業〉〈供給〉(基礎～フォローアップ)・オーダーメイド研修 など
社外セミナー派遣 (職務別のスキルアップなど)		各種部門内研修 各種社外講演会
人権啓発推進		コンプライアンス研修会
国内外留学		キャリアチャレンジ支援・国内留学・海外留学
自己啓発支援		通信講座受講支援・資格取得支援 ・寺子屋ゼミ・マネジメント力養成講座・英会話
その他		メンター研修・チーフ研修・女性活躍推進・定年退職再雇用者など

働きやすい職場環境づくりをめざして

従業員一人ひとりが成長し、より高い成果を出すため、働きやすい職場環境づくりに力を入れています。

ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

長時間労働の是正を踏まえた、時間外労働の削減については、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、必要不可欠で重要な取り組みであると考えています。また、政府が進める「働き方改革」への対応という面からも、従業員の労働時間に対する意識を向上させるための取り組みを行っています。

従来から行っていた各部署ごとの「ノー残業デー」に加え、毎月の給与支給日および夏季・冬季の賞与支給日を全社一斉のノー残業デーとし、運用を始めています。

また、「はよ帰ろうDAY」として、毎月の最終金曜日を早帰り促

進デーに設定し、対応が可能な職場においては、有給休暇やフレックス勤務制度を利用し定時前の早帰りを推奨しています。

これらを通じて、従業員が自らの業務を見直す習慣を身に付けるとともに、効率よく働くにはどうすればよいかを考えることを促すことで、生産性を高める施策として取り組んでいます。

高い競争力と継続的な成長を維持するためには組織の多様性をマネジメントすることが必要であり、特に女性活躍推進は重要課題として取り組んでいます。

従業員の活躍を支援する仕組みの一つとして、「育児・介護休業制度」の利用を促すとともに、2009年から「育児短時間勤務制度」の導入や、2015年からフレックスタイム制度の利用拡大など働きやすい職場環境づくりを推進しています。これは女性だけでなく、男性の働き方や育児・介護参加の視点を含めた取り組みであり、社会的責任を果たすうえでも大変重要であると考えています。

【育児休業制度の利用者と復職率の推移】

区分	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
育児休業制度 利用者(人)	2	5	3	5	2
育児休業制度 利用者の復職率(%)	100	100	100	100	100

社員の声 育児休業を取得

2015年11月に第1子を出産後、待機児童の問題で育児休業期間を延長し、2017年4月に復職しました。復職を迎えるにあたっては、同じ部署や人事部の先輩ママにアドバイスをいただき、不安なく迎えることができました。



業務用エネルギー営業部
草深 静香

現在は第2子を妊娠しており、短時間勤務制度を利用しつつ、仕事と育児の両立に日々楽しく奮闘しております。

育児休業明けの第2子妊娠の報告は申し訳ない気持ちで一杯でしたが、部門長をはじめ職場の方々温かく受け入れていただけたことに安心しました。

このような温かい環境と整った制度のおかげで、育児をしながらも最前線で働かせていただけることに感謝し、これからもがんばります。

人材の確保

企業として健全に発展していくために、安定した新卒採用活動や、定年退職後の継続再雇用制度の運用、障がい者雇用など、多様な人材の確保に取り組んでいます。

採用にあたっては「お客さま、地域社会、一緒に働く仲間から信頼される人材」を確保すべく、男女雇用機会均等法を遵守し、公正かつ公平な選考を行っています。

採用後は、女性の職域拡大など「やりがい・働きがいのある職場づくり」に取り組んでいます。

【雇用状況の推移】

※()内の数値は女性

	2012 年度	2013 年度	2014 年度	2015 年度	2016 年度
期末要員数[人]	681(95)	693(109)	684(111)	676(116)	669(119)
平均年齢[歳]	42.8(38.6)	43.0(39.1)	42.6(38.7)	43.5(39.9)	43.4(39.9)
平均勤続[年]	18.8(14.9)	17.7(13.2)	18.7(14.0)	18.9(15.1)	18.7(15.2)
新卒採用[人]	14(3)	16(6)	15(4)	12(3)	17(4)
定年退職[人]	20	7	13	11	10
(うち再雇用[人])	(10)	(4)	(12)	(9)	(7)
障がい者雇用数[人]	20	14	15	15	14

人権啓発推進活動

従業員の人権を尊重し、人権への正しい理解と認識を社内に広めるため、「広がり人権宣言」を制定するとともに、誰もが働きやすく能力発揮できる職場をめざし、「快適な職場の条件10か条」を定めています。

社長を委員長とする「人権啓発推進委員会」や、広島ガスグループを含めた全部門からなる「人権啓発推進事務局」、「セクハラ相談窓口」を設置し、人権啓発推進活動の向上を図るとともに、全役職員が相談しやすい体制づくりにも力を入れています。

また、「人権に関するアンケート」を広島ガスグループ全体で毎

年実施しており、その結果を基に、全役職員を対象とした「コンプライアンス研修会」を全事業所で実施し、人権啓発意識の向上に努めています。その他にも、「人権講演会」、「ハラスメント研修会」の開催や、毎月7日を「マナーの日」と定め、あいさつ運動を各事業所で実施するなど、働きやすい職場環境づくりを進めています。

さらに、グループ会社とともに広島同企連（「同和問題の解決をめざす広島企業連絡会」の略称）に加入し、地元企業と連携した人権啓発推進活動にも取り組んでいます。

労働安全衛生の取り組み

1 労働安全衛生活動の基本方針

広島ガスグループは労働安全衛生に関する基本方針を定め、従業員の安全・健康管理を推進し、働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。

広島ガスグループ安全衛生基本方針

広島ガスグループは、従業員が安心して働くことのできる「安全な職場」の実現と「心身の健康」の保持増進を経営の重要課題として位置付けるとともに、経営者ならびに全ての従業員は、「安全と健康は全てに優先する」という考えのもと、「安全で働きやすい職場環境」の実現に向けて、以下の項目に取り組む。

① 法令遵守

- 安全衛生に関する法令、社内規程、社内基準および作業マニュアルなどを遵守する。

③ 安全文化の構築

- 安全最優先の考え方・行動が根付いた安全文化を構築する。
- 業務に潜む危険に対する感受性を高め、率先してリスク低減に努める。

② 安全衛生意識の向上

- 安全衛生に関する教育・訓練を通じて安全衛生に対する意識の向上を図る。

④ 健康づくりの推進

- 心身の健康づくりのため、健康保持増進の環境整備、機会の提供に取り組む。
- 心身の健康づくりに自ら率先して取り組む。

2 労働災害の防止

広島ガスは安全衛生管理組織のもと、労働災害防止と従業員の安全確保に努めています。具体的には、本社地区の安全衛生委員会を中心として、各事業所にも安全衛生委員会を設置し、連携しながら安全活動を行っています。

◆ 安全意識の向上

安全意識の向上のため、労働安全に関する情報を「安全ニュース」として定期的に発行し、社内イントラネット上の掲示板に掲載しています。

また、安全意識を徹底し定着させることを目的に、2016年に「安全大会」を開催しました。今後も、毎年開催し労働災害防止に努めていきます。



安全大会

3 健康の保持・増進

従業員の健康の保持増進に向けて、産業保健スタッフ（産業医・保健師）が中心となり、きめ細かい健康管理を行っています。

◆ 健康診断

広島ガスの定期健康診断の受診率は毎年100%を達成しています。また、健康診断項目も年々充実させており、法定検査項目以上の水準で実施しています。

健康診断時には保健師による問診を実施するとともに、健康診断後にも全従業員を対象に保健師がフォロー面談を行い、一人ひとりに対して健康診断結果に基づいた食事指導や運動その他日常の生活指導を行うなど、きめ細かい健康指導を行っています。



産業医の健康指導

◆ メンタルヘルス対策

メンタルヘルス疾患の予防・早期発見のため、以下の対策を中心に今後も継続・強化していきます。

- ①全従業員を対象にしたストレスチェックを2013年から実施。
- ②毎年、全従業員を対象にメンタルヘルス研修会を実施。
- ③新入社員、人事異動者を中心に保健師によるフォロー面談を実施。
- ④相談体制として、産業医・保健師による対応の他、外部機関の相談窓口を設置。

◆ 長時間労働対策

労使による専門委員会を通じ幅広く協議を進め、業務の効率化を推進するとともに、時間外労働の削減、有給休暇取得促進について全社で取り組んでいます。

また、長時間労働者が発生した場合は、本人・上司に対して実態調査をするとともに、該当する従業員に対して「疲労蓄積度チェック」を行い、必要に応じて産業医・保健師が面談を行うなど、健康面の配慮を行っています。



こくぶ かつひこ
國部 克彦 氏

神戸大学大学院
経営学研究科 教授

広島ガスでは、2017年4月から実施されたガスの小売全面自由化に対して、「Web会員サイト」や「生活関連サービス」の提供など、顧客への新たなサービスを開始しています。これらの活動が、広島ガスのためだけでなく、顧客の生活の質を含めた社会的全体の価値を高めていくことを期待しています。

環境問題についても、広島大学跡地での「スマートコミュニティ」への参画や、家庭用燃料電池「エネファーム」の普及拡大などの環境にやさしい天然ガスの高度利用をはじめとして、大変積極的に取り組んでいます。なかでも、パリ協定に対応するためにガス業界・広島ガスの対応をまとめている点は高く評価できます。今後は再生エネルギーの活用を、より一層、積極的に展開してほしいと思います。

また、防災拠点ビルを建設し、総合防災訓練やライフライン防災教室を継続している点も注目できます。BCP(事業継続計画)からBCM(事業継続マネジメント)への展開は、重要な企業の社会的責任ですので、この点で重要な進捗が認められます。

広島ガスは地域公益企業として数多くの地域貢献活動を行っています。広島での文化とスポーツの振興に大きな役割を果たしていることは、とても重要です。働きやすい職場づくりと併せて、広島になくてはならない企業であり続けてほしいと思います。



つきむら よしこ
月村 佳子 氏

広島市地域女性団体連絡協議会
会長

消費者としての立場から

広島ガスは地球にやさしい天然ガスを中四国地方ではいち早く導入し、廿日市工場では、棧橋機能拡大工事完了により大型標準LNG船による原料の受け入れを開始し、安定供給とコストダウンに努められています。また、都市ガス普及のため、パイプライン工事を進め、安心して便利なガス利用がひろがっています。そして、企業として社会的責任を担われ「経営の安定、クリーンな環境、社会的貢献活動」を推進し、私たち「市女連」も大変お世話になっております。

私事で恐縮ですが、昨年二世帯住宅に建て替えました折、ガスファンの娘と私は、女性にとって大切なキッチンはガスコンロと決めていました。ガストピアへ何度も学びに行き、大変親切にいただきました。揚げ物、焼き魚などの温度調節ができ、タイマーもかけられ自動で消火ができるなど、驚くばかりです。今年の冬は床暖房も快適でした。ガス器具の省エネへの進歩には、目を見張るばかりです。子や孫の次世代へ美しい地球を残すことが私たちの責務と思います。また今年からガスの自由化がはじまっております。いろいろと学習させてください。



にしむら まさやす
西村 正順 氏

呉市立荘山田小学校 校長

省エネを考え、未来を生きる

荘山田小学校では、4~5年前から広島ガスの環境保全・教育活動の一環である「エコ・クッキング」の出張授業を受けています。対象は第6学年で、毎回楽しく調理に取り組む児童たちの姿が見られ、指導者の皆さまの熱心な取り組みには感謝しております。

昨年度の1月は、特別に元広島東洋カープの北別府学氏がエコ・クッキング授業のゲストとして学校を訪問してくださいました。

児童は、ゲストの方とともに「エコノミ焼き」に挑戦しました。食材は、小麦粉、キャベツ、卵、ネギ、竹輪などです。今回のキャベツは、北別府ファームで収穫された冬キャベツでした。広島ガスの指導者の方から説明を受け、下準備をしたらよい調理実習です。

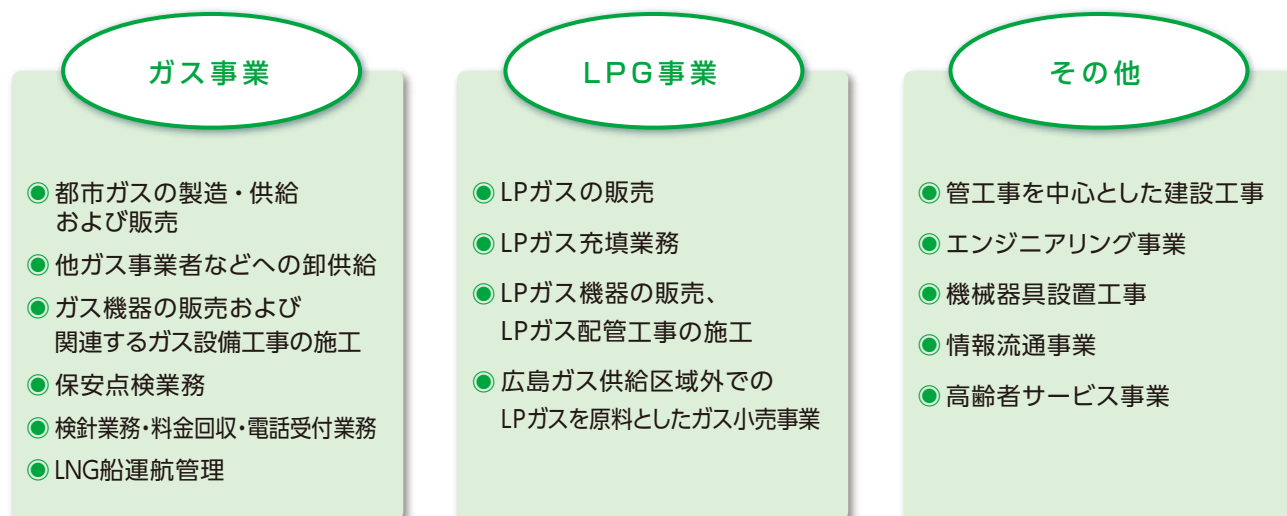
まず、食材をなるべく無駄にしないように気をつけます。キャベツの芯は細かく、ネギの根の部分はできるだけ際まで切り、卵の殻の内側に付いた白身もきれいに取って使います。調理後には、捨てる材料の重さを量り、エコな取り組みを実感します。

次に、炎がフライパンからはみ出ないように、火加減に気をつけながら加熱していきます。さらにフライパンに蓋をしたら効率が良いことも理解します。このような活動を通して、児童は無駄なく食材を使い切ること、エネルギー消費を抑えることを学びます。

児童は、「エコ・クッキング」で学んだ省エネについて、家庭で話題にしたり、家庭科の調理実習で思い出して無駄のないように工夫したりして、実生活に活かしています。これらの児童の学びは、きっと未来に生き、社会を支えていくための大切な資質・能力となることでしょう。

広島ガスグループの概要

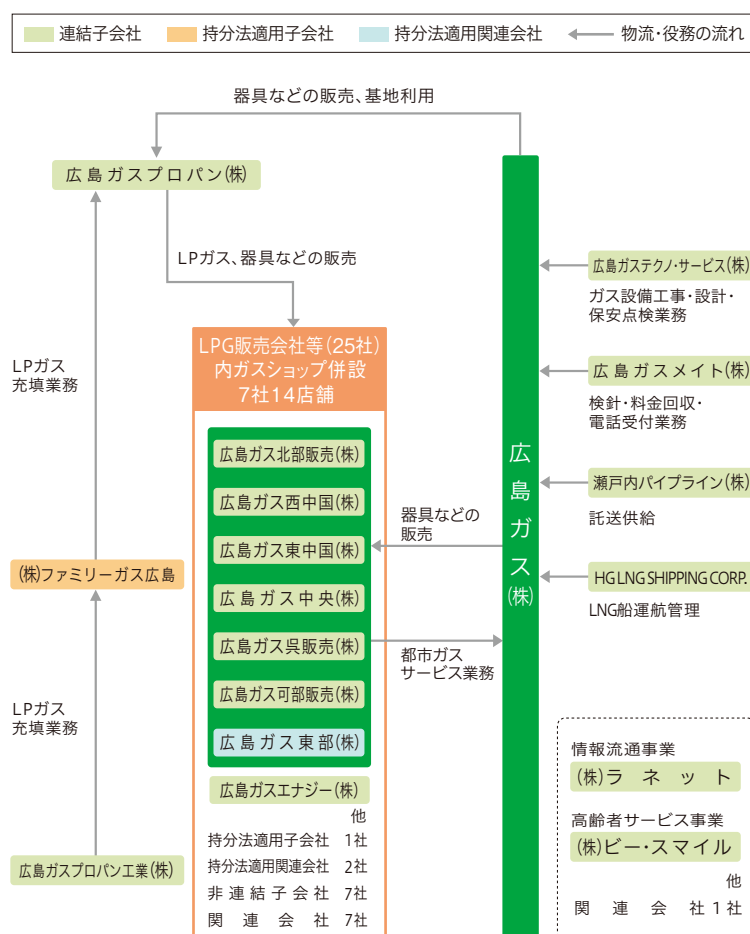
広島ガスグループ(広島ガス、子会社24社および関連会社11社により構成)においては、ガス事業、LPG事業を主として行っています。



■ 事業系統図

(2017年3月31日現在)

広島ガス(株)を中心に子会社・関連会社を含めて36社で構成されています。



■ 主な子会社の概要

(2017年3月31日現在)

広島ガスプロパン株式会社
 資本金／3億円 設 立／1969年3月
 売上高／9,210百万円 従業員数／91名

広島ガステクノ・サービス株式会社
 資本金／8千万円 設 立／1998年6月
 売上高／11,811百万円 従業員数／208名

広島ガスメイト株式会社
 資本金／2千万円 設 立／1975年4月
 売上高／1,093百万円 従業員数／155名

株式会社ラネット
 資本金／3千万円 設 立／2000年10月
 売上高／296百万円 従業員数／6名

株式会社ビー・スマイル
 資本金／5千万円 設 立／2001年6月
 売上高／183百万円 従業員数／27名

瀬戸内パイプライン株式会社
 資本金／1億5千万円 設 立／2003年5月
 売上高／1,011百万円 従業員数／10名

HG LNG SHIPPING CORPORATION
 資本金／1百万円 設 立／2005年2月
 売上高／3,706百万円



〒734-8555 広島市南区皆実町2丁目7-1
広島ガス株式会社 総務部 広報環境室
☎082-252-3154(直通)

<http://www.hiroshima-gas.co.jp/>

広島ガスCSR報告書 2017 2017年7月発行

《表紙デザイン》



明日に向かって、Start !

「このまち思いエネルギー。広島ガス」
この新スローガンのもと、広島ガスグループは総合エネルギー企業として、
より多くの人たちの笑顔を育んでいく
ために邁進していきます。

「このまちの未来をもっと輝かせたい」
という私たちの決意を、子どもたちが
笑顔で走り出す姿に託しました。



このレポートの
印刷する際の電
力300kWhは、
自然エネルギー
でまかなわれて
います。

UD FONT
見やすいユニバーサルフォントを
採用しています。